corega

CG-NCMNL
CG-WLNCMNGL
CG-NCPTL
CG-WLNCPTGL
詳細設定ガイド

Contents

付属の「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく設置・操作してください。

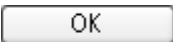
Y613-17350-01 Rev.E

はじめに

このたびは、「CG-NCMNL」、「CG-WLNCMNGL」、「CG-NCPTL」または「CG-WLNCPTGL」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-NCMNL、CG-WLNCMNGL、CG-NCPTL または CG-WLNCPTGL のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

■取扱説明書

安全にお使いいただくためのご注意、お使いの環境に合わせた本商品の設定方法、「NC Finder」やWeb ブラウザで映像を見るための設定について説明しています。
また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

■詳細設定ガイド（PDF マニュアル：本書）

設定画面の詳細説明や、付属のユーティリティディスク（CD-ROM）に収録している「NC Monitor」の使い方などを説明しています。

本書の構成

本書は、本商品を使いこなすための詳細な設定方法、使い方について説明しています。本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章　設定画面の詳細説明

この章では、本商品の設定画面の詳しい説明をしています。

■第 2 章　NC Monitor の使い方

この章では、パソコンで複数台の本商品の映像を見たり、管理・録画・撮影できる「NC Monitor」の使い方を説明しています。

■第 3 章　こんなときはこの設定（機能編）

この章では、本商品の機能の設定方法について説明しています。

■第 4 章　こんなときはこの設定（撮影・録画編）

この章では、本商品を使った撮影・録画方法について説明しています。これらはすべて本商品がネットワークに接続していることを前提としています。

■第 5 章　こんなときはこの設定（サポート編）

この章では、本商品の各サポート機能の設定方法について説明しています。

目次

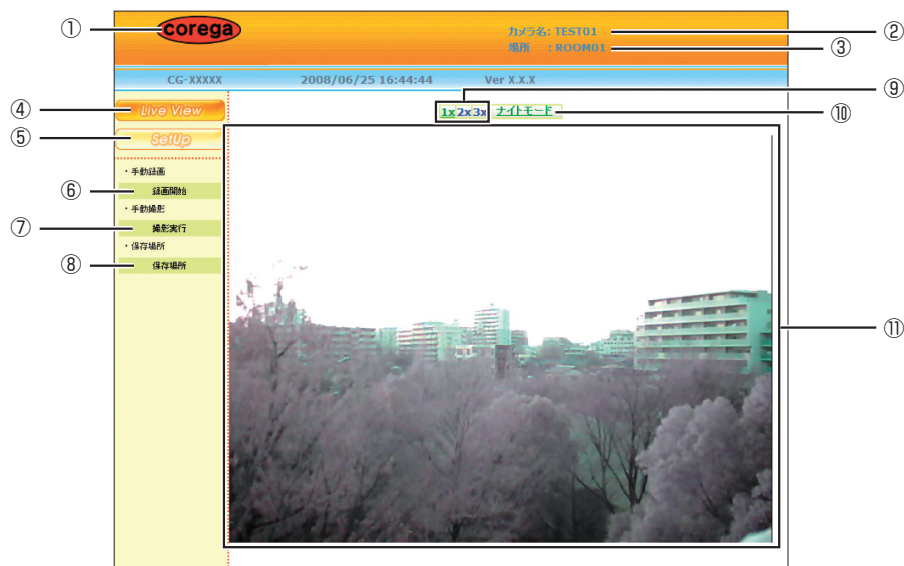
第 1 章
設定画面の詳細説明

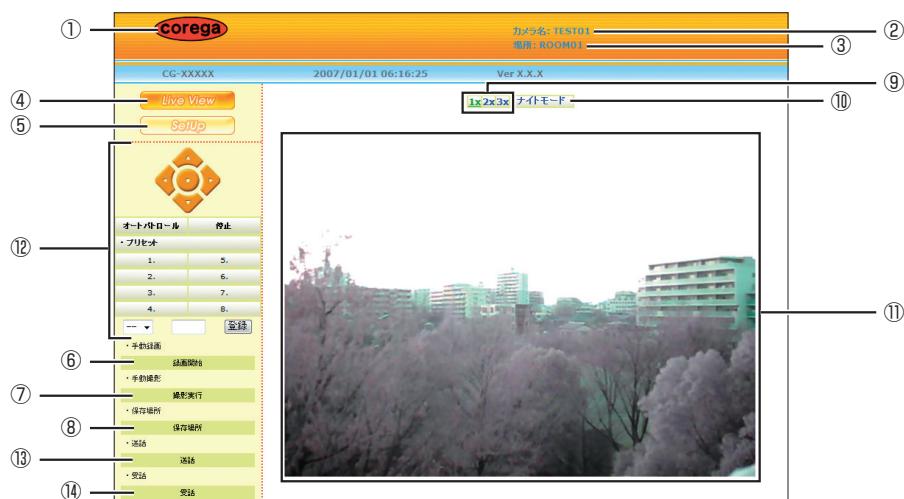
この章では、本商品の設定画面の詳しい説明をしています。

1.1 Live View（トップページ）

本商品の設定画面のトップページです。
本商品が撮影している映像を見られるほか、手動で撮影・録画できます。

☞ P.78「3.1 設定画面を表示する」

CG-NCMNL ／ CG-WLNCMNGL

※画面は例です

CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL

※画面は例です

① コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

② カメラ名

「システム」で設定した本商品の名前を表示します。

☞ P.15「1.4.1 システム」

③ 場所

「システム」で設定した本商品の設置場所の名称を表示します。

☞ P.15「1.4.1　システム」

④ [Live View]

「Live View」画面を表示します。現在表示している画面です。

⑤ [SetUp]

本商品を設定・管理する「SetUp」画面を表示します。

☞ P.11「1.2　SetUp」

⑥ [録画開始]

本商品が撮影している映像を手動で録画します。

☞ P.107「4.4　パソコンから「Live View」で撮影・録画する」

⑦ [撮影実行]

本商品が撮影している映像を手動で撮影します。

☞ P.107「4.4　パソコンから「Live View」で撮影・録画する」

⑧ [保存場所]

撮影・録画するファイルの保存場所を設定します。

☞ P.107「4.4　パソコンから「Live View」で撮影・録画する」

⑨ デジタルズーム

本商品が撮影している映像の中央部分をデジタルズームで拡大します。
倍率は「1 ×（1 倍)」、「2 ×（2 倍)」、「3 ×（3 倍)」で選択できます。

⑩ ナイトモード（暗視モード）

ナイトモードが有効の場合、本商品の周囲が暗くなると自動的に映像を補正します。

⑪ 映像

本商品が撮影している映像です。

⑫ パン・チルト（首振り）操作

パン・チルト（首振り）操作および設定ができます。

☞ P.111「4.4.3　パン・チルト操作をする（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ)」

⑬ **送話**

お使いのパソコンにマイク（別売り）を接続し、本商品の音声出力端子に外部スピーカ（別売り）を接続することで、お使いのパソコンのマイクから入力した音声を、本商品に接続したスピーカから出力できます。

☞ P.115「4.4.4　受話・送話する（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

⑭ **受話**

本商品に内蔵するマイクで本商品の周りの音を聞けます。

☞ P.115「4.4.4　受話・送話する（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

1

1.2 SetUp

本商品のさまざまな項目を設定します。

① コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

② カメラ名

「システム」で設定した本商品の名前を表示します。

☞ P.15「1.4.1　システム」

③ 場所

「システム」で設定した本商品の設置場所の名称を表示します。

☞ P.15「1.4.1　システム」

④ ログアウト

設定画面からログアウトして Web ブラウザを閉じます。

再度設定画面を表示する場合は、「NC Finder」または Web ブラウザから表示してください。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

⑤ [Live View]

本商品が撮影している映像を見たり、手動で撮影・録画できる「Live View」画面を表示します。

☞ P.8「1.1　Live View（トップページ）」

⑥ [SetUp]

「SetUp」画面を表示します。現在表示している画面です。

⑦ 簡単設定

ウィザード形式で本商品を設定します。

☞ P.13「1.3 簡単設定」

⑧ 基本設定

本商品の基本的な項目を設定します。

☞ P.14「1.4 基本設定」

⑨ ネットワーク設定

本商品のネットワークを設定します。

☞ P.20「1.5 ネットワーク設定」

⑩ カメラ設定

本商品のカメラの映像などを設定します。

☞ P.28「1.6 カメラ設定」

⑪ モーション感知設定

モーション感知の感度や範囲などを設定します。

☞ P.34「1.7 モーション感知設定」

⑫ スケジュール設定

撮影スケジュールを設定します。

☞ P.35「1.8 スケジュール設定」

⑬ 保存先設定

撮影した静止画の保存先を設定します。

☞ P.36「1.9 保存先設定」

⑭ 管理

本商品の再起動や初期化などを管理します。

☞ P.42「1.10 管理」

⑮ ステータス

本商品のステータス（状態）を表示します。

☞ P.43「1.11 ステータス」

1.3 簡単設定

本商品をウィザード形式で設定できます。設定の詳細については、本商品に付属の「取扱説明書」「簡単設定で設定したい」をご覧ください。

簡単設定では、本商品のネットワークを設定できます。そのほかの項目は設定できません。

1.4　基本設定

本商品の基本的な項目を設定します。

① システム

本商品の名前などのシステムに関連する項目を設定します。

P.15「1.4.1　システム」

② 日付と時間

本商品の日付と時間を設定します。

P.16「1.4.2　日付と時間」

③ ユーザ管理

本商品に接続できるユーザを設定します。

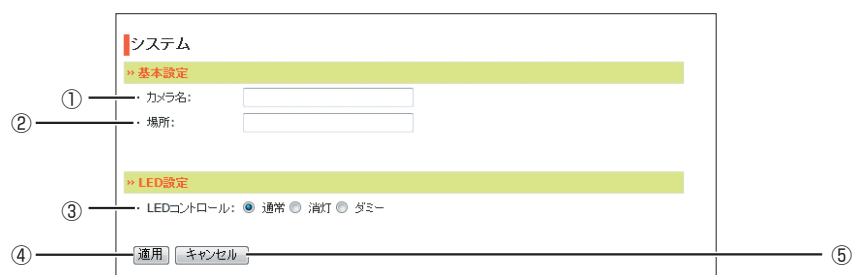
P.17「1.4.3　ユーザ管理」

④ セキュリティ

本商品に接続できる IP アドレスを制限します。

P.19「1.4.4　セキュリティ」

1.4.1 システム

本商品の名前などのシステムに関連する項目を設定します。

■基本設定

① カメラ名

本商品の名前を設定します。

名前を付けることで複数台の本商品を区別できます（初期値：空欄）。

② 場所

本商品を設置する場所の名称を設定します（初期値：空欄）。

■ LED 設定

③ LED コントロール

本商品の LED の動作を設定します。

通常：本商品の動作に従って LED が点灯、点滅、消灯します（初期値）。

消灯：本商品の動作中も、LED は常時消灯になります。

ダミー：本商品の動作とは関係なく LED が動作します。

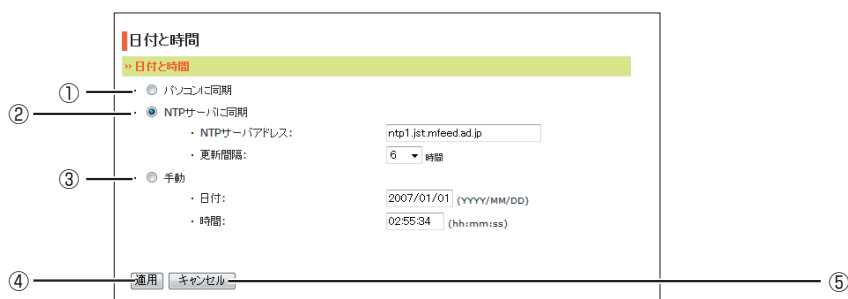
④ [適用]

設定した内容を保存します。

⑤ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.4.2 日付と時間

本商品の日付と時間の取得方法を設定します。

■日付と時間

① パソコンに同期

本商品に接続しているパソコンに同期して日付と時刻を設定します。

② NTP サーバに同期

NTP サーバと同期して日付と時刻を設定します（初期値）。
インターネットに接続してしばらくすると自動的に同期します。

・NTP サーバアドレス

同期したい NTP サーバのサーバ名または IP アドレスを入力します（初期値：ntp1.jst.mfeed.ad.jp）。

・更新間隔

NTP サーバとの同期の間隔を選択します（初期値：6 時間）。

・プロバイダがNTPサーバを公開している場合は、プロバイダのNTP サーバを設定してください。
・NTPサーバをサーバ名で入力する場合は、DNS サーバの設定が必要です。

☞ P.20「1.5.1 ネットワーク」

③ 手動

本商品の日付と時刻を手動で設定します。

・日付

日付を半角数字と半角「/」で設定します。

・時間

時刻を半角数字と半角「：」で設定します。

④ ［適用］

設定した内容を保存します。

⑤ ［キャンセル］

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.4.3 ユーザ管理

本商品に接続するユーザ名とパスワードを設定します。

■管理者

「管理者」は、「Live View」画面での映像の閲覧、動画の録画、静止画の撮影のほか、「SetUp」画面で本商品を設定できます。

「管理者」権限のユーザ名は「admin」です。「管理者」権限のユーザ名は変更できません。

P.126「5.1　管理者パスワードを変更するには」

① パスワード／パスワードの確認

「管理者」権限の新しいパスワードを設定します。

② [変更]

①で入力したパスワードに変更します。

■一般ユーザ

「一般ユーザ」は、「Live View」画面での映像の閲覧、動画の録画、静止画の撮影ができます。本商品の設定はできません。

作成できるユーザは、「ゲスト」と合わせて 11 ユーザです。

P.82「3.3　接続できるユーザを設定する」

③ ユーザ名

「一般ユーザ」のユーザ名を入力します。

④ パスワード

「一般ユーザ」のパスワードを入力します。

⑤ ユーザリスト

作成した「一般ユーザ」を表示します。

⑥ [追加 / 変更]

③「ユーザ名」、④「パスワード」で入力した内容で「一般ユーザ」を作成します。

⑦ [削除]

⑤「ユーザリスト」で表示した「一般ユーザ」を削除します。

■ゲスト

「ゲスト」は、「Live View」画面での映像の閲覧のみできます。動画の録画、静止画の撮影、本商品の設定はできません。

作成できるユーザは、「一般ユーザ」と合わせて 11 ユーザです。

☞ P.82「3.3 接続できるユーザを設定する」

⑧ ユーザ名

「ゲスト」のユーザ名を入力します。

⑨ パスワード

「ゲスト」のパスワードを入力します。

⑩ ユーザリスト

作成した「ゲスト」を表示します。

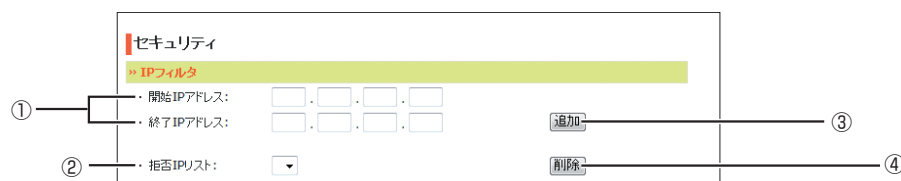
⑪ [追加 / 変更]

⑧「ユーザ名」、⑨「パスワード」で入力した内容で「ゲスト」を作成します。

⑫ [削除]

⑩「ユーザリスト」で表示した「ゲスト」を削除します。

1.4.4 セキュリティ

本商品に接続できる IP アドレスを制限します。

■ IP フィルタ

① 開始 IP アドレス／終了 IP アドレス

本商品への接続を拒否したい IP アドレスを範囲で設定します。

設定例：

開始 IP アドレス：192.168.0.10

終了 IP アドレス：192.168.0.50

この場合、192.168.0.10 から 192.168.0.50 までの IP アドレスに設定されたパソコンは本商品に接続できません。

② 拒否 IP リスト

①「開始 IP アドレス／終了 IP アドレス」で設定した本商品への接続を拒否された IP アドレスの範囲が表示されます。リストに表示された IP アドレスのパソコンは本商品に接続できません。

例：192.168.0.10 ～ 192.168.0.50

この場合、192.168.0.10 から 192.168.0.50 までの IP アドレスに設定されたパソコンは本商品に接続できません。

③ [追加]

①「開始 IP アドレス／終了 IP アドレス」で入力した IP アドレスの範囲を②「拒否 IP リスト」に追加します。

④ [削除]

表示した拒否 IP リストをリストから削除します。

☞ **P.85**「3.4 接続できる IP アドレスを設定する」

1.5　ネットワーク設定

本商品のネットワーク環境を設定します。

※画面は CG-WLNCMNGL の例です。

① **ネットワーク**

本商品のネットワーク環境を設定します。

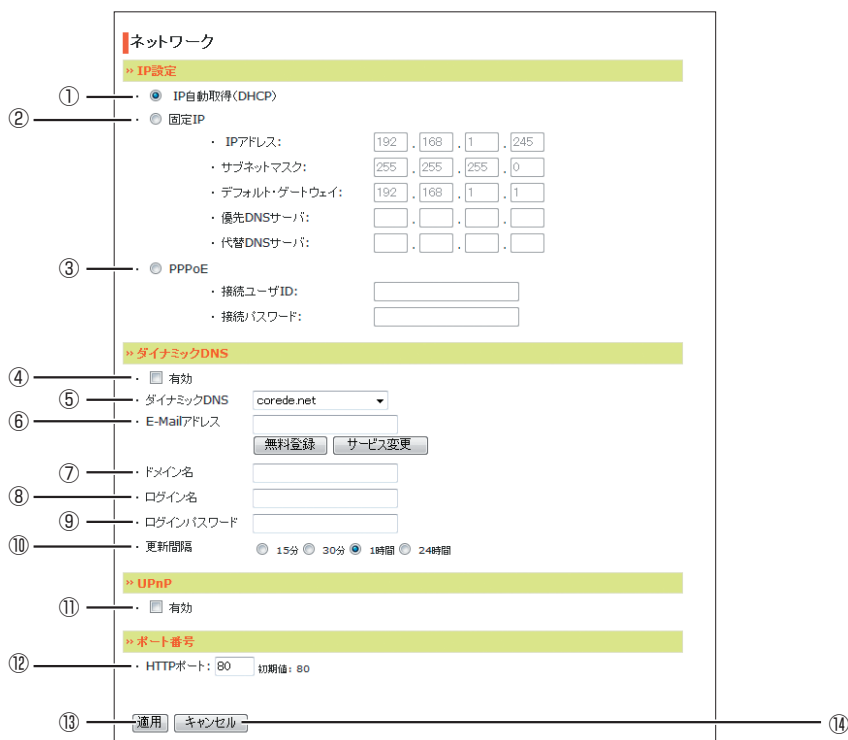
☞ P.20「1.5.1　ネットワーク」

② **無線（CG-WLNCMNGL/CG-WLNCPTGL のみ）**

本商品の無線 LAN 環境を設定します。

☞ P.23「1.5.2　無線（CG-WLNCMNGL/CG-WLNCPTGL のみ）」

1.5.1　ネットワーク

本商品の IP アドレスやポート番号などを設定します。

■ IP 設定

本商品の IP アドレスの取得方法を選択します。

「IP 設定」は「NC Finder」でも設定できます。

☞「取扱説明書」「付録　本商品の IP アドレスを変更したい」

① IP 自動取得（DHCP）

本商品の IP アドレスを社内 LAN やルータの DHCP サーバから取得する場合や、本商品をYahoo! BBやCATVなどのDHCPでインターネットに接続する場合に選択します。

DHCP サーバから IP アドレスを取得している場合、本商品や DHCP サーバが再起動などの動作をすると、以前と異なる IP アドレスが割り当てられるときがあります。本商品に常に同じ IP アドレスを設定したい場合は、②「固定 IP」で IPアドレスを設定してください。

② 固定 IP

本商品の IP アドレスを固定する場合に選択します。

- **IP アドレス**

  IP アドレスを設定します。

- **サブネットマスク**

  サブネットマスクを設定します。

- **デフォルト・ゲートウェイ**

  デフォルト・ゲートウェイを設定します。

- **優先 DNS サーバ／代替 DNS サーバ**

  DNS サーバを設定します。ルータ経由でインターネットに接続している場合は、デフォルト・ゲートウェイと同じ値を設定します。プロバイダが DNS サーバを提供している場合は、プロバイダの DNS サーバを設定します。

③ PPPoE

本商品をフレッツ･ADSL やフレッツ･光などの回線に直接接続する場合に選択します。

- **接続ユーザ ID**

  プロバイダから指定されたインターネット接続用 ID を設定します。

- **接続パスワード**

  プロバイダから指定されたインターネット接続用パスワードを設定します。

■ダイナミック DNS

本商品のダイナミック DNS を使用する場合に設定します。

本商品を接続するルータやルータ機能付きモデムなどのダイナミックDNSを使用する場合は、本商品のダイナミック DNS を使用する必要はありません。

④ 有効

本商品のダイナミック DNS を使用する場合にチェックを付けます。

⑤ ダイナミック DNS

使用するダイナミックDNSを「corede.net」、「members.dyndns.org」、「IvyNetwork」、「@NetDDNS」から選択します（初期値：corede.net）。

⑥ E-Mail アドレス

ダイナミック DNS に登録した E メールアドレスを設定します。

- **［無料登録］**

  ⑤「ダイナミック DNS」で「corede.net」を選択した場合のみ表示されます。
  「corede.net」の無料サービスに登録できます。

- **［サービス変更］**

  ⑤「ダイナミック DNS」で「corede.net」を選択した場合のみ表示されます。

⑦ ドメイン名

ダイナミック DNS に登録したドメイン名を設定します。

⑧ ログイン名

ダイナミック DNS に登録したログイン名を設定します。

⑨ ログインパスワード

ダイナミック DNS に登録したログインパスワードを設定します。

⑩ 更新間隔

IP アドレスの更新を確認する時間間隔を「15 分」、「30 分」、「1 時間」、「24 時間」から選択します（初期値：1 時間）。

■ UPnP

UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）を使用する場合に設定します。

⑪ 有効

UPnP を使用してポートを開放する場合にチェックを付けます。開放されるポート番号は、⑫「HTTP ポート」で設定します。

■ポート番号

設定画面（「Live View」画面や「SetUp」画面）を表示するためのポート番号を設定します。

⑫ HTTP ポート

ポート番号を入力します（初期値：80）。

・通常は初期値から設定を変更する必要はありません。
・ポート番号を初期値から変更した場合、本商品の設定画面を表示するときに、IP アドレスのほかにポート番号を入力する必要があります。
例：ポート番号を 8008 に設定した場合のアドレス
http://XXX.XXX.XXX.XXX:8008/

⑬ [適用]

設定した内容を保存します。

⑭ [キャンセル]

[適用] をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.5.2 無線（CG-WLNCMNGL/CG-WLNCPTGL のみ）

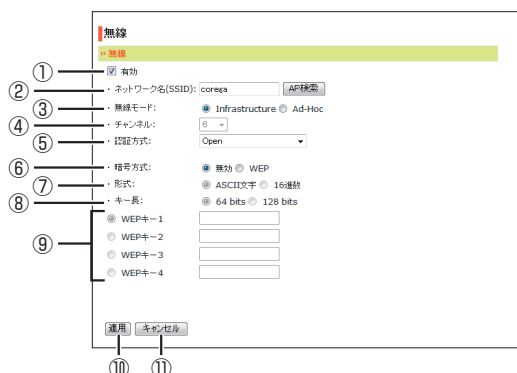
本商品を無線 LAN で接続する場合に、お使いの無線 LAN の環境に合わせて設定します。無線セキュリティの暗号方式によって画面が異なります。

※画面は WPA を設定した例です

☞ P.24「■ WEP を設定する場合／無線セキュリティを設定しない場合」

☞ P.26「■ WPA を設定する場合」

■ WEP を設定する場合／無線セキュリティを設定しない場合

無線セキュリティで WEP を使用する場合、または無線セキュリティを使用しない場合の画面を説明します。

① 有効

無線 LAN 機能の有効／無効を設定します。

・**有効**

無線 LAN 機能を使用する場合にチェックを付けます（初期値）。

・**無効**

無線 LAN 機能を使用しない場合にチェックを外します。

② ネットワーク名（SSID）

無線 LAN のネットワーク名（SSID）を設定します（初期値：corega）。

接続先の無線 LAN 機器（アクセスポイントや無線ルータ、または無線 LAN アダプタなど）と同じ文字列を設定します。ネットワーク名（SSID）には、32 文字以内の半角英数文字および半角記号を使用できます。

・**[AP 検索]**

近くにある無線 LAN 機器を検索できます。接続したい無線 LAN 機器を選択すると、「ネットワーク名（SSID)」が自動で入力されます。

③ 無線モード

接続先の無線 LAN 機器に合わせて設定します。

・**Infrastructure（インフラストラクチャ）**

接続先の無線 LAN 機器がアクセスポイントまたは無線ルータの場合に選択します（初期値）。

・**Ad-Hoc（アドホック）**

パソコンと直接通信する場合に選択します。

④ チャンネル

使用する電波の周波数（チャンネル）を設定します（初期値：自動）。

・**自動**

③「無線モード」が「Infrastructure」の場合は、自動的にチャンネルが設定されます。

・**1 ～ 13**

③「無線モード」が「Ad-Hoc」の場合は、接続先の無線 LAN 機器と同じチャンネルに設定します（初期値：6）。

⑤ 認証方式

暗号化で使用する認証方式を選択します（初期値：Open）。

・**Open**

無線セキュリティを設定しない場合、または WEP を設定する場合に選択します。

・**Shared Key**

WEP を使用する場合に選択します。

⑥ 暗号方式

無線セキュリティの暗号方法を設定します（初期値：無効）。

・**無効**

暗号化しない（無線セキュリティを使用しない）場合に選択します。「無効」を選択した場合、無線の通信内容は暗号化されません。

・**WEP**

接続先の無線 LAN 機器が WEP の場合に選択します。

⑦ 形式

WEP の暗号化キーの入力形式を選択します（初期値：ASCII 文字）。

⑧ キー長

WEP の暗号化キーのキー長を選択します（初期値：64bits）

⑨ WEP キー

WEP の暗号化キーを入力します（初期値：空欄）。

複数の WEP キーを設定して選択することもできます。

⑩ [適用]

設定した内容を保存します。

⑪ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

■ WPA を設定する場合

無線セキュリティで WPA を使用する場合の画面を説明します。

① 有効

無線 LAN 機能の有効／無効を設定します。

・有効

無線 LAN 機能を使用する場合にチェックを付けます（初期値）。

・無効

無線 LAN 機能を使用しない場合にチェックを外します。

② ネットワーク名（SSID）

無線 LAN のネットワーク名（SSID）を設定します（初期値：corega）。

接続先の無線 LAN 機器（アクセスポイントや無線ルータ、または無線 LAN アダプタなど）と同じ文字列を設定します。ネットワーク名（SSID）には、32 文字以内の半角英数文字および半角記号を使用できます。

・[AP 検索]

近くにある無線 LAN 機器を検索できます。接続したい無線 LAN 機器を選択すると、「ネットワーク名（SSID）」が自動で入力されます。

③ 無線モード

接続先の無線 LAN 機器に合わせて設定します（初期値：Infrastructure）。

WPA は「Infrastructure」の環境でのみ使用できます。

④ チャンネル

使用する電波の周波数（チャンネル）を設定します（初期値：自動）。

③「無線モード」が「Infrastructure」の場合は、接続先の無線 LAN 機器に合わせて自動的にチャンネルが設定されます。

⑤ **認証方式**

暗号化で使用する認証方式を選択します。

・WPA-PSK

接続先の無線 LAN 機器が WPA-PSK の場合に選択します。

・WPA2-PSK

接続先の無線 LAN 機器が WPA2-PSK の場合に選択します。

・WPA-PSK/WPA2-PSK

接続先の無線 LAN 機器に WPA-PSK と WPA2-PSK が混在している場合に選択します。

⑥ **暗号方式**

無線セキュリティの暗号方法を設定します。

・TKIP

TKIP で暗号化する場合に選択します。

・AES

AES で暗号化する場合に選択します。

・Auto（TKIP/AES）

接続先の無線 LAN 機器に合わせて、TKIP か AES のどちらかで暗号化する場合に選択します。

TKIP よりも AES の方がセキュリティが高くなります。

⑦ **WPA 共有キー**

WPA の共有キーを入力します（初期値：空欄）。

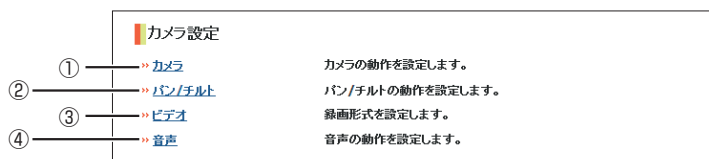
⑧ **［適用］**

設定した内容を保存します。

⑨ **［キャンセル］**

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.6 カメラ設定

本商品のカメラの映像などを設定します。

※画面は CG-NCPTL の例です

① カメラ

カメラの動作を設定します。

☞ **P.29**「1.6.1 カメラ」

② パン／チルト（CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL のみ）

パン・チルト（首振り）の動作を設定します。

☞ **P.31**「1.6.2 パン／チルト設定（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

③ ビデオ

録画形式を設定します。

☞ **P.32**「1.6.3 ビデオ」

④ 音声（CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL のみ）

音声の動作を設定します。

☞ **P.33**「1.6.4 音声（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

1.6.1 カメラ

本商品のカメラの映像に関する項目を設定します。

※画面は例です

■画像設定

使用する環境に合わせて映像の状態を設定します。

① 明るさ

映像の明るさを設定します。明るさの数値は「0（暗い）～ 100（明るい）」で設定できます（初期値：8）。

② コントラスト

映像のコントラストを設定します。コントラストの数値は「0（弱い）～100（強い）」で設定できます（初期値：32）。

③ 色彩

映像の色彩を設定します。色彩の数値は「0（淡い）～ 100（濃い）」で設定できます（初期値：36）。

④ [初期値]

明るさ、コントラスト、色彩の数値を初期値に戻します。

⑤ 画像反転

映像を反転します。本商品を天井などに設置する場合に使用してください。

・上下反転

映像の上下を反転します（初期値：無効）。

・左右反転

映像の左右を反転します（初期値：無効）。

⑥ 環境

本商品を設置する環境を設定します。

・50Hz

東日本で使用する場合に選択します。

・60Hz

西日本で使用する場合に選択します。

・光量補正

窓際など太陽光の影響で画像が白飛びする場合に選択します。

■オーバーレイ設定

映像に日付と時間を入れる場合に設定します。

⑦ 日付と時間を入れる

映像に日付と時間を入れる場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

・日付と時間を不透明化

⑦「日付と時間を入れる」にチェックを付けると設定できるようになります。日付と時間の後ろを不透明にする場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

⑧ [適用]

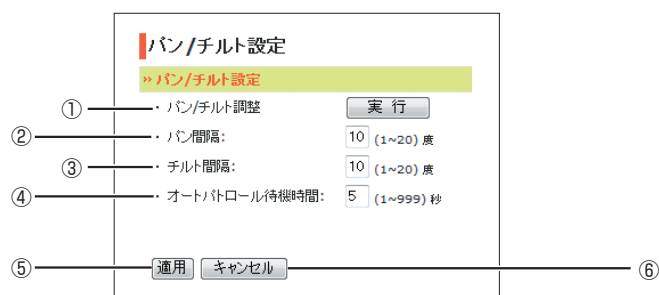
設定した内容を保存します。

⑨ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1

1.6.2 パン／チルト設定（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）

本商品のパン・チルト（首振り）の動作を設定します。

① パン／チルト調整

[実行] をクリックすると、カメラの向きを初期位置（正面を撮影する状態）に戻します。

② パン間隔

パン（左右）の移動間隔を設定します（初期値：10）。
数値が大きいほど 1 回のパンでの移動が多くなります。

③ チルト間隔

チルト（上下）の移動間隔を設定します（初期値：10）。
数値が大きいほど 1 回のチルドでの移動が多くなります。

④ オートパトロール待機時間

オートパトロール（自動首振り）を実行するときに、同じ位置で停止して待機する時間を設定します（初期値：5 秒）。

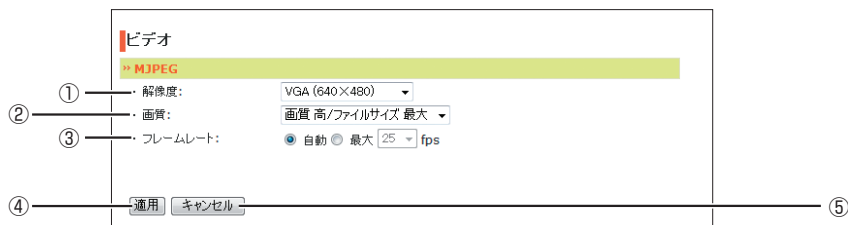
⑤ [適用]

設定した内容を保存します。

⑥ [キャンセル]

[適用] をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.6.3 ビデオ

本商品の映像に関する項目を設定します。

■ MJPEG

MJPEG（モーション JPEG）に関する項目を設定します。

① 解像度

映像の解像度を設定します。解像度は「VGA（640 × 480）、QVGA（320 × 240）、QQVGA（160 × 120）」から選択できます（初期値：VGA（640 × 480））。

② 画質

映像の画質を設定します。画質は「画質 高／ファイルサイズ 最大」、「画質 高／ファイルサイズ 大」、「画質 中／ファイルサイズ 中」、「画質 低／ファイルサイズ 小」、「画質 低／ファイルサイズ 最小」から選択できます（初期値：画質 高／ファイルサイズ 最大）。

③ フレームレート

映像のフレームレートの最大値を設定します。

・自動

フレームレートの上限は映像によって自動的に設定されます（初期値）。

・最大

フレームレートの上限を指定できます。

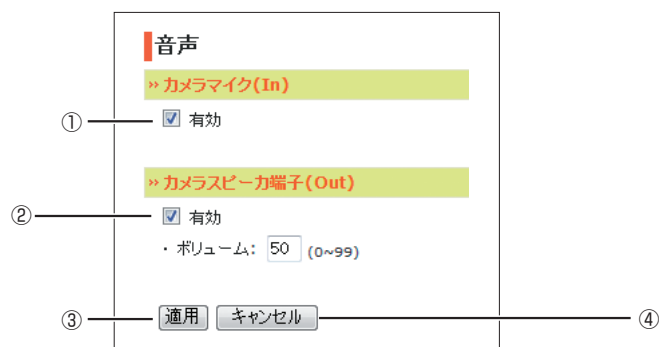
④ [適用]

設定した内容を保存します。

⑤ [キャンセル]

[適用] をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.6.4 音声（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）

本商品の音声の動作を設定します。

① カメラマイク（In）

本商品に内蔵するマイクを使用する場合、「有効」にチェックを付けます。

② カメラスピーカ端子（Out）

本商品の音声出力端子に外部スピーカ（別売り）を接続して使用する場合、「有効」にチェックを付けます。

「ボリューム」は、数値が小さいと音量が小さく、数値が大きいと音量が大きくなります（初期値：50）。

③ [適用]

設定した内容を保存します。

④ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.7 モーション感知設定

モーション撮影する場合の感知方法を設定します。

※画面は例です

① ウィンドウ

モーション感知するウィンドウ（領域）を選択します。

② 有効

選択したウィンドウ（領域）でモーション感知する場合に「有効」にチェックを付けます（初期値：無効）。

③ 名前

選択したウィンドウ（領域）に名前を付けます（初期値：空欄）。

④ 動作感知レベル／感度

モーション感知の感度を設定します。「感度」で映像の感度を確認して、「動作感知レベル」でモーション感知するしきい値を設定します。

⑤ ウィンドウ 1 ／ウィンドウ 2

モーション感知するウィンドウ（領域）の大きさや位置を設定します。

現在選択されているウィンドウ（領域）は赤い枠で表示されます。ウィンドウ（領域）は最大 2 つまで設定できます。

⑥ [保存]

設定した内容を保存します。

⑦ [キャンセル]

［保存］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

モーション感知の設定方法は、次の項目をご覧ください。

☞ P.88「4.1 モーション感知を設定する」

1.8　スケジュール設定

スケジュールに従って撮影する場合に設定します。

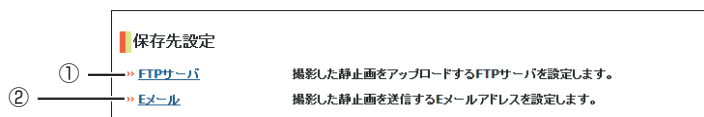
本商品で表示される「日付と時間」が正しくない場合は、本商品のスケジュールを設定する前に、本商品の「日付と時間」を設定してください。

☞ P.16「1.4.2　日付と時間」

スケジュールの設定方法は、次の項目をご覧ください。

☞ P.90「4.2　スケジュールを設定する」

1.9 保存先設定

撮影した静止画の保存先を設定します。

① FTP サーバ

撮影した静止画をアップロードする FTP サーバを設定します。

☞ P.36「1.9.1　FTP サーバ」

② E メール

撮影した静止画を送信する E メールアドレスを設定します。

☞ P.38「1.9.2　E メール」

1.9.1 FTP サーバ

撮影した静止画をアップロードする FTP サーバを設定します。

※画面は CG-NCMNL の例です

■ FTP アップロード設定

① サーバアドレス

静止画をアップロードする FTP サーバのアドレスを入力します（初期値：空欄）。

② ポート番号

FTP で使用するポート番号を入力します（初期値：21）。

③ ユーザ名

FTP サーバに接続するためのユーザ名を入力します（初期値：空欄）。

④ パスワード

FTP サーバに接続するためのパスワードを入力します（初期値：空欄）。

⑤ ディレクトリ

FTP サーバの接続先のディレクトリを入力します（初期値：空欄）。

⑥ パッシブモード

パッシブモードを使用する場合にチェックを付けます（初期値：有効）。

■スケジュール撮影設定

⑦ 有効

スケジュールに従って撮影する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

⑧ スケジュール設定

撮影するスケジュールを選択します（初期値：常に実行）。

「常に実行」のほか、「スケジュール設定」で登録したスケジュールから選択できます。

☞ P.35「1.8 スケジュール設定」

⑨ 撮影間隔

撮影と撮影の間隔を設定します。

・時間／分／秒

設定した間隔で撮影します（初期値：30 秒）。

・フレーム / 秒（CG-NCMNL のみ）

1 秒間に、設定したフレーム数を撮影します（初期値：1 フレーム / 秒）。

実際に撮影される枚数は、トラフィックやサーバの状態によって異なります。

■モーション撮影設定

⑩ [モーション設定]

モーション感知設定で設定した内容に従って撮影する場合に設定します。

☞ P.41「1.9.3 モーション設定」

⑪ [FTP 送信テスト]

設定した FTP サーバにアップロードできることをテストします。

⑫ [適用]

設定した内容を保存します。

⑬ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.9.2 E メール

撮影した静止画を送信する E メールアドレスを設定します。

■ E メール送信設定

① メール（SMTP）サーバアドレス

送信元のメールサーバアドレスを入力します（初期値：空欄）。

② ポート番号

メールサーバで使用するポート番号を入力します（初期値：25）。

③ 送信元アドレス（From）

送信元のメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

④ 認証モード

メールサーバの認証モードを選択します（初期値：無効）。

⑤ ユーザ名

メールサーバに接続するためのユーザ名を入力します（初期値：空欄）。

⑥ パスワード

メールサーバに接続するためのパスワードを入力します（初期値：空欄）。

⑦ 送信先アドレス 1（To）／送信先アドレス 2（To）

撮影した静止画の送信先メールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

メールアドレスは 2 つ設定できます。

⑧ E メール件名

E メールの件名を入力します（初期値：カメラ　メール通知）。

⑨ E メール本文

E メールの本文を入力します（初期値：添付ファイルを確認してください。）。

⑩ E メール本文へのカメラ IP 表示

E メール本文に本商品の IP アドレスを表示する／表示しないを選択します（初期値：表示する）。

⑪ 画像添付

E メールに画像を添付する／添付しないを選択します（初期値：添付する）。

⑫ WAN 側 IP の変更

本商品の WAN 側 IP アドレスが変更されたときに E メールで通知する／通知しないを選択します（初期値：通知しない）。

■スケジュール撮影設定

⑬ 有効

スケジュール設定に従って撮影する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

⑭ スケジュールプロファイル

撮影に使用するスケジュールプロファイルを選択します（初期値：常に実行）。

「常に実行」のほか、「スケジュール設定」で登録したスケジュールプロファイルを選択できます。

☞ P.35「1.8 スケジュール設定」

⑮ 撮影間隔

撮影と撮影の間隔を設定します（初期値：20 秒）。
「スケジュールプロファイル」でスケジュールプロファイルを選択している場合は、スケジュールプロファイルに設定された E メール送信間隔を使用することもできます。

■モーション撮影設定

⑯ [モーション設定]

モーション感知設定で設定した内容に従って撮影する場合に設定します。

☞ P.41「1.9.3 モーション設定」

⑰ [メール送信テスト]

設定したメールアドレスに送信できることをテストします。

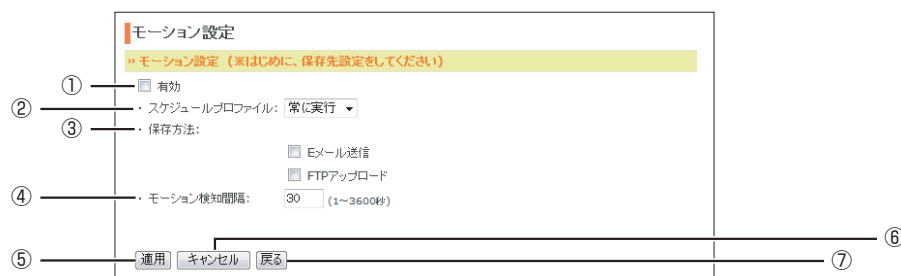
⑱ [適用]

設定した内容を保存します。

⑲ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

1.9.3 モーション設定

モーション感知に従って撮影する場合に設定します。

■モーション設定

① 有効

モーション感知に従って撮影する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

② スケジュールプロファイル

撮影するスケジュールを選択します（初期値：常に実行）。
「常に実行」のほか、「スケジュール設定」で登録したスケジュールから選択できます。

☞ **P.35**「1.8 スケジュール設定」

③ 保存方法

撮影した静止画の保存先を設定します。

・E メール送信

モーション感知で撮影した静止画を E メールで送信します。

☞ **P.38**「1.9.2 E メール」

・FTP アップロード

モーション感知で撮影した静止画を FTP サーバにアップロードします。

☞ **P.36**「1.9.1 FTP サーバ」

④ モーション検知間隔

モーション感知する間隔を設定します（初期値：30 秒）。

⑤ [適用]

設定した内容を保存します。

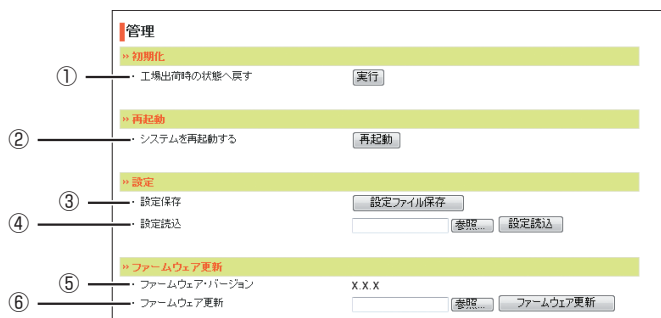
⑥ [キャンセル]

［適用］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

⑦ [戻る]

前の画面に戻ります。

1.10　管理

本商品の再起動や初期化などを管理します。

※画面は CG-NCMNL の例です

■初期化

① 工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を初期化して工場出荷時の状態へ戻します。

☞ P.135「5.5　工場出荷時の状態（初期値）に戻すには」

■再起動

② システムを再起動する

本商品を再起動します。

☞ P.133「5.4　再起動するには」

■設定

③ 設定保存

本商品の設定をファイルに保存します。

☞ P.129「5.3　設定をバックアップする／元に戻すには」

④ 設定読込

保存してある本商品の設定ファイルを読み込み、反映します。

☞ P.129「5.3　設定をバックアップする／元に戻すには」

■ファームウェア更新

⑤ ファームウェア・バージョン

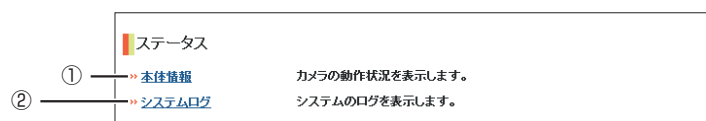
本商品のファームウェアのバージョンを表示します。

⑥ ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新します。

☞ P.127「5.2　最新のファームウェアを入手してアップデートするには」

1.11　ステータス

本商品のステータス（状態）を表示します。

※画面は CG-NCMNL の例です

① 本体情報／デバイス情報

本商品の情報を表示します。

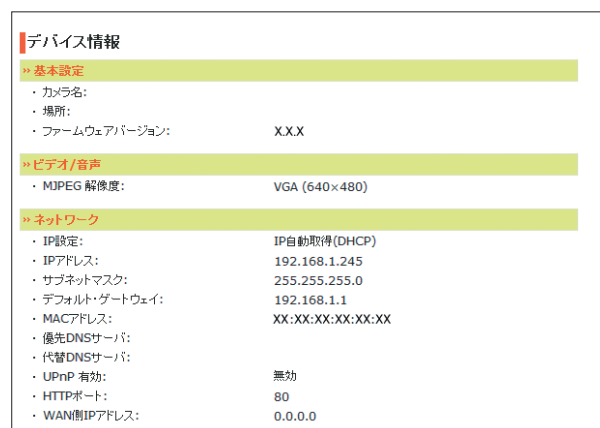
☞ P.43「1.11.1　本体情報／デバイス情報」

② システムログ

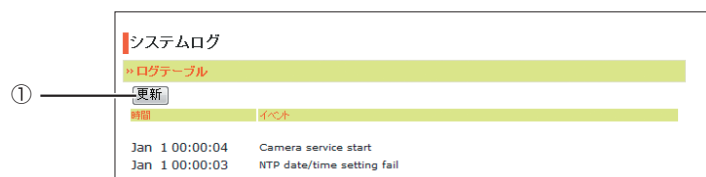
システムログを表示します。

☞ P.43「1.11.2　システムログ」

1.11.1　本体情報／デバイス情報

本商品に設定した情報の一覧を表示します。

※画面は CG-NCMNL の例です

1.11.2　システムログ

本商品のログを表示します。

※画面は例です

① [更新]

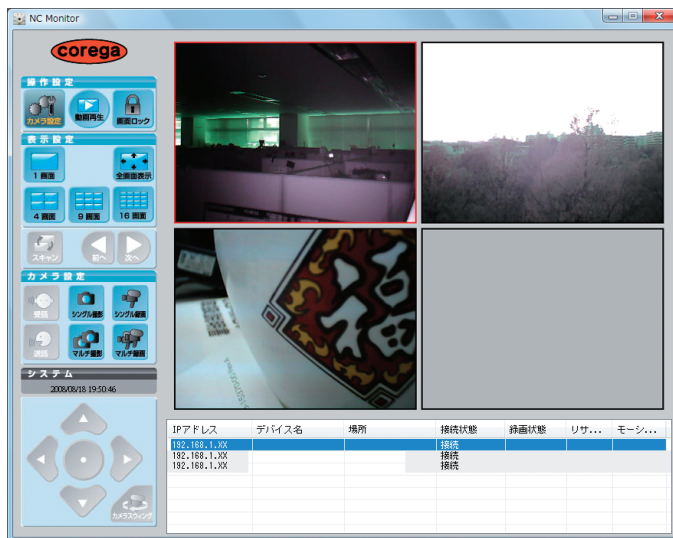
ログを更新します。

第 2 章
NC Monitor の使い方

この章では、パソコンで複数台の本商品の映像を見たり、管理・録画・撮影できる「NC Monitor」の使い方を説明しています。

2.1　NC Monitor をインストールする

本商品のユーティリティディスク（CD-ROM）には、最大 16 台の本商品を管理・録画できる「NC Monitor」を収録しています。「NC Monitor」を使用することで、パソコンで複数台の本商品の映像を見られるほか、録画・撮影できます。

「NC Monitor」は Windows 専用ソフトウェアです。

※画面は例です

2.1.1　NC Monitor の動作環境

「NC Monitor」は Windows 専用ソフトウェアです。

「NC Monitor」では、最大 16 台の本商品を操作できます。操作する本商品の台数によって、パソコンの必要な環境は異なります。インストールする前に「NC Monitor」の動作環境を満たしていることを確認してください。

動作環境は次のとおりです。

対応 OS	Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
ディスプレイ	解像度：1,024 × 768 以上 色数：16bit（ハイカラー）以上、32bit（フルカラー）推奨

本商品の台数	CPU	メモリ
1 台	Intel Pentium III 800MHz 以上	512MB 以上
2 ～ 4 台	Intel Pentium4 1.3GHz 以上	512MB 以上
5 ～ 8 台	Intel Pentium4 2.4GHz 以上	1GB 以上
9 ～ 16 台	Intel Pentium4 3.4GHz 以上	2GB 以上

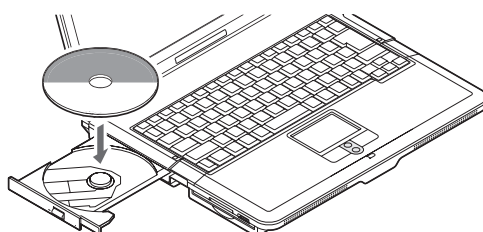
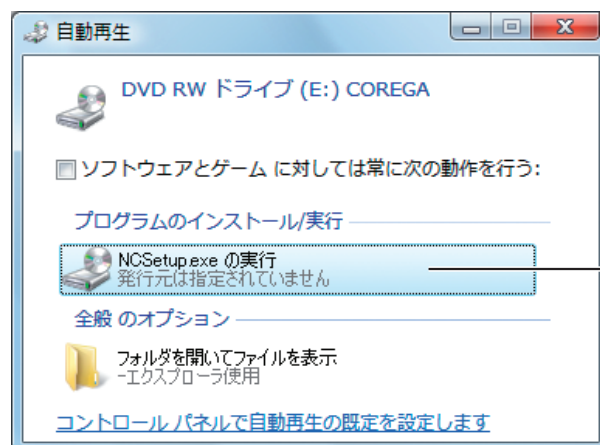
2

2.1.2 NC Monitor をインストールする

「NC Monitor」のインストール手順を説明します。

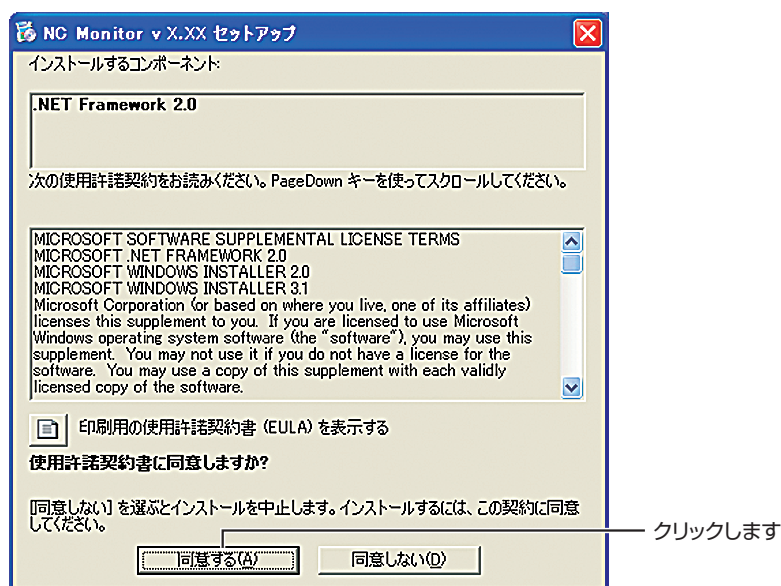
- 「NC Monitor」は Windows 専用のソフトウェアです。動作環境以外の OS には対応していません。ここでは Windows Vista を例に説明します。
- 「コンピュータの管理者」または「Administrator（アドミニストレータ）」権限があるユーザでインストール・使用してください。

次の手順で「NC Monitor」をインストールします。

1　**パソコンの CD-ROM ドライブにユーティリティディスク（CD-ROM）をセットします。**

2　**【Windows Vista のみ】「NCSetup.exe の実行」をクリックします。**

3　【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、「許可」をクリックします。

4　［NC Monitor］をクリックします。

メモ

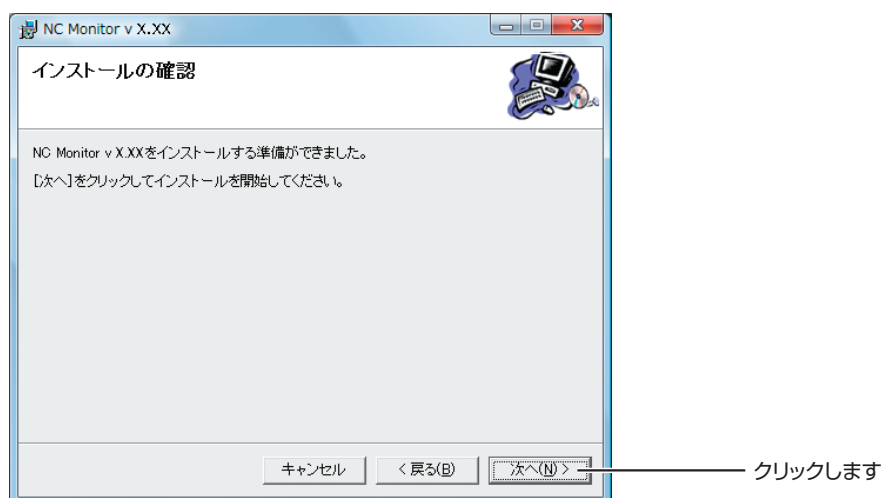
お使いの環境に「.NET Framework」がインストールされていない場合、次の画面が表示されます。［同意する］をクリックし、表示される画面に従ってインストールします（弊社で動作を確認しています）。

5　【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「許可」をクリックします。

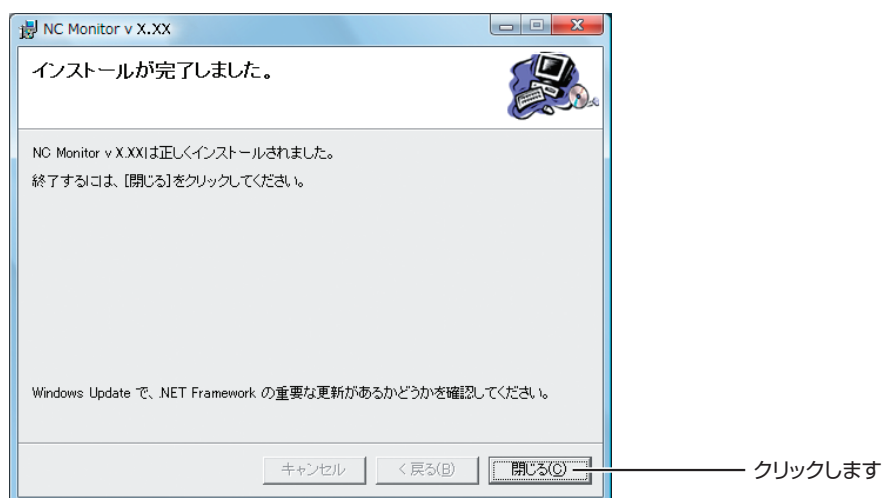
2

6　[次へ] をクリックします。

7　[次へ] をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックし、インストール先を指定してください。通常は変更する必要はありません。

8　［次へ］をクリックし、インストールを開始します。

9　【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「許可」をクリックします。

10　［閉じる］をクリックします。

以上で、「NC Monitor」のインストールは完了です。

引き続き、**P.51**「2.2　NC Monitor を起動する」に進みます。

2.2　NC Monitor を起動する

「NC Monitor」を次の手順で起動します。

1　［スタート］－「すべてのプログラム（Windows 2000 の場合は「プラグラム」）」－「corega」－「NC Monitor」－「NC Monitor」の順にクリックします。

2　「NC Monitor」が起動します。

以上で、「NC Monitor」の起動は完了です。
引き続き、**P.52**「2.3　NC Monitor の設定画面」をご覧ください。

2.3 NC Monitor の設定画面

「NC Monitor」の設定画面を説明します。

① 操作設定

「NC Monitor」の設定、動画の再生・画面のロックができます。

☞ **P.53**「2.4 操作設定」

② 表示設定

「NC Monitor」に登録した映像の表示方法の設定と切り替えができます。

☞ **P.63**「2.5 表示設定」

③ カメラ設定

本商品の映像を手動で撮影・録画できます。

☞ **P.64**「2.6 カメラ設定」

④ システム

現在の時刻を表示します。

☞ **P.65**「2.7 システム」

⑤ パン・チルト操作（CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL のみ）

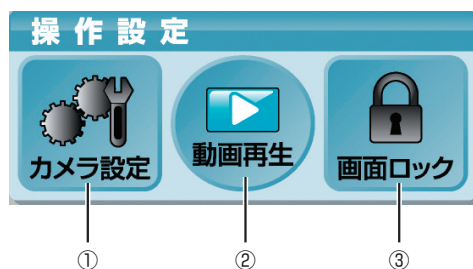
カメラのパン・チルト（首振り）操作ができます。

☞ **P.66**「2.8 パン・チルト操作（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

「NC Monitor」で本商品の映像を見たり、撮影・録画するには、本商品を「NC Monitor」に登録する必要があります。
詳しい設定方法は、次をご覧ください。

☞ **P.67**「2.9.1 NC Monitor に本商品を登録する」
☞ **P.70**「2.9.2 NC Monitor の状態を更新する」
☞ **P.71**「2.9.3 NC Monitor から本商品を削除する」

2.4　操作設定

「操作設定」では、「NC Monitor」の設定、動画の再生、画像ロックができます。

※画面は例です

① [カメラ設定]

「NC Monitor」の各設定画面を表示します。

☞ P.54「2.4.1　カメラリスト」

☞ P.55「2.4.2　カメラ設定」

☞ P.56「2.4.3　録画設定」

☞ P.57「2.4.4　スケジュール録画設定」

☞ P.58「2.4.5　モーション動作設定」

☞ P.59「2.4.6　E メール設定」

☞ P.60「2.4.7　画面ロック設定」

☞ P.61「2.4.8　その他設定」

☞ P.62「2.4.9　バージョン情報」

② [動画再生]

録画した動画を再生します。[動画再生] をクリックするとファイル選択画面が表示され、ファイルを選択するとパソコンで標準に設定された動画再生ソフトウェアで再生します。

③ [画面ロック]

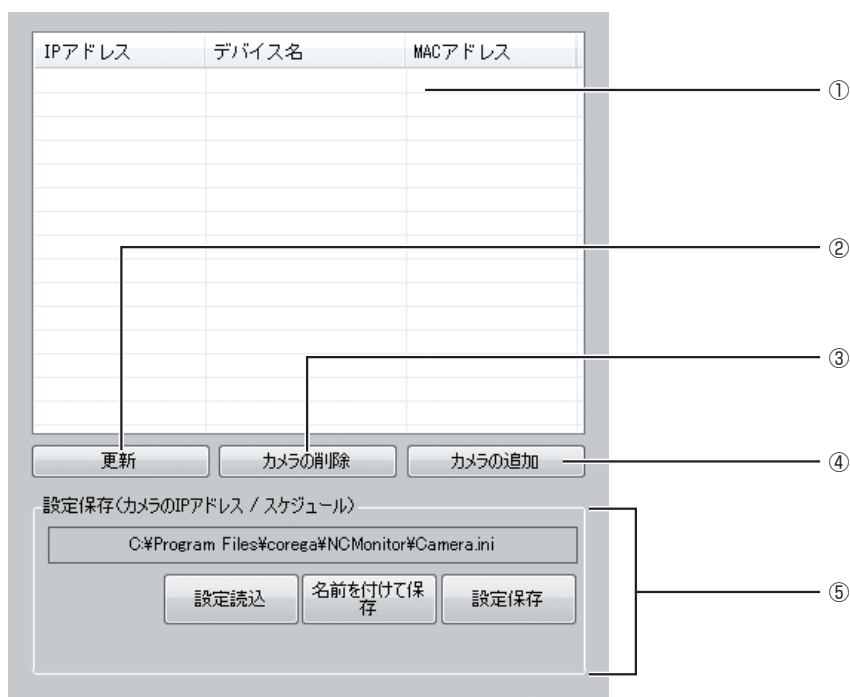
「NC Monitor」の各機能ボタンを操作できないようにロックします。画面をロックするためのユーザ名とパスワードは、P.60「2.4.7　画面ロック設定」で設定します。

2.4.1 カメラリスト

「NC Monitor」に登録した本商品のリストを表示します。複数台の本商品を登録・管理・削除します。

■カメラリストの表示

［カメラ設定］－「カメラリスト」の順にクリックします。

■カメラリストの項目

① リスト

「NC Monitor」に登録した本商品を表示します。

② [更新]

クリックすると、リストで表示されるデバイス名を更新します。

③ [カメラの削除]

リストから本商品を削除します。

④ [カメラの追加]

リストに本商品を追加します。

⑤ 設定保存

本商品のリストや「NC Monitor」に登録したスケジュールを保存します。

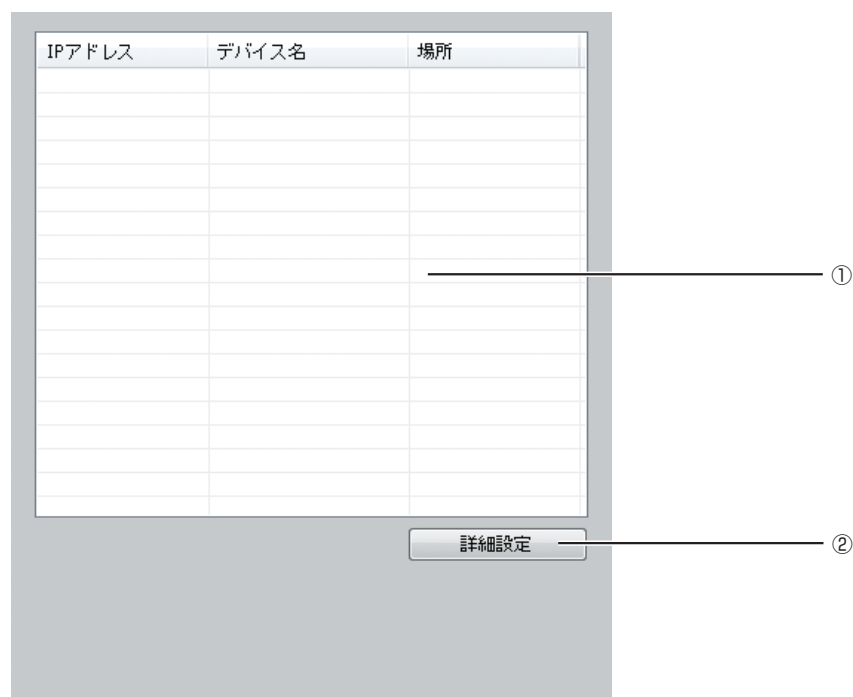
☞ P.67「2.9.1 NC Monitor に本商品を登録する」

2.4.2 カメラ設定

「NC Monitor」から本商品の設定画面を表示します。

■カメラ設定の表示

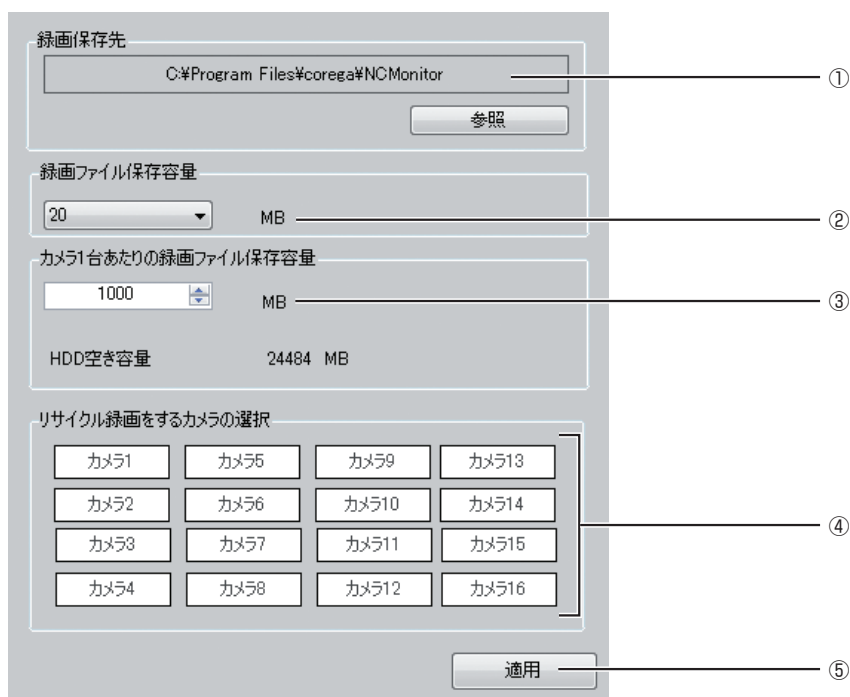
［カメラ設定］ー「カメラリスト」ー「カメラ設定」の順にクリックします。

■カメラ設定の項目

① **リスト**

「NC Monitor」に登録した本商品を表示します。

② **［詳細設定］**

クリックすると、リストで選択した本商品の設定画面を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2.4.3 録画設定

「NC Monitor」での録画方法を設定します。

■録画設定の表示

［カメラ設定］－「録画設定」の順にクリックします。

■録画設定の項目

① 録画保存先

「NC Monitor」で録画・撮影するときの動画と静止画の保存先を設定します。

② 録画ファイル保存容量

録画する動画の容量を設定します（初期値：20MB）。

③ カメラ 1 台あたりの録画ファイル保存容量

本商品 1 台あたりに保存できる動画の容量を設定します（初期値：1000MB）。

④ リサイクル録画をするカメラの選択

本商品 1 台ごとにリサイクル録画を設定します。

録画した動画ファイルの合計容量が、「カメラ 1 台あたりの録画ファイル保存容量」を超える場合に、古い動画を削除して録画を続けるか停止するかを選択します。

⑤ ［適用］

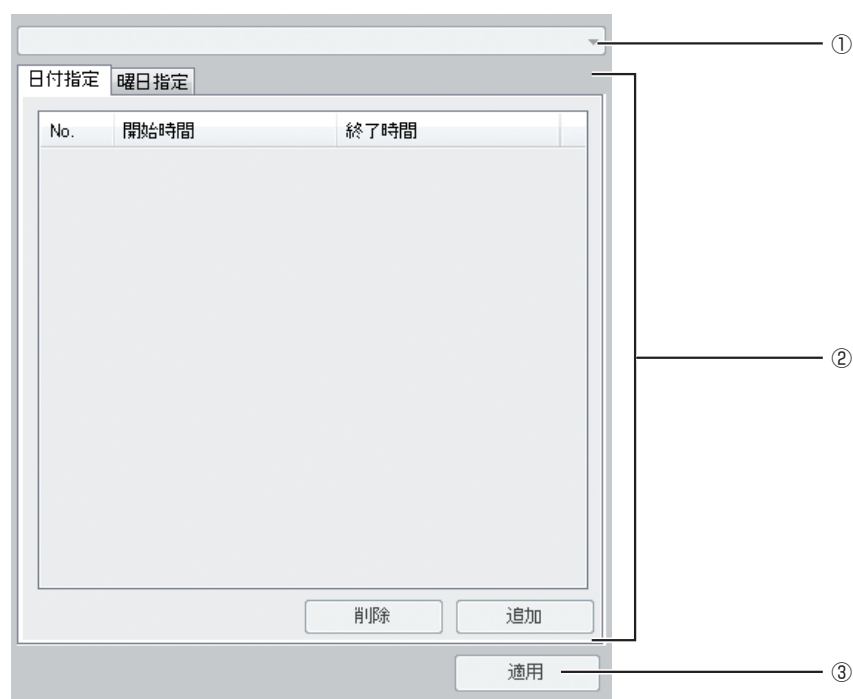
設定を保存します。

2.4.4 スケジュール録画設定

「NC Monitor」でのスケジュール録画を設定します。

■スケジュール録画設定の表示

［カメラ設定］－「録画設定」－「スケジュール録画設定」の順にクリックします。

■スケジュール録画設定の項目

① カメラ選択

スケジュールを設定する本商品を選択します。

② スケジュール

日付指定と曜日指定でスケジュールを設定します。

③ ［適用］

設定を保存します。

詳しい設定方法は、次をご覧ください。

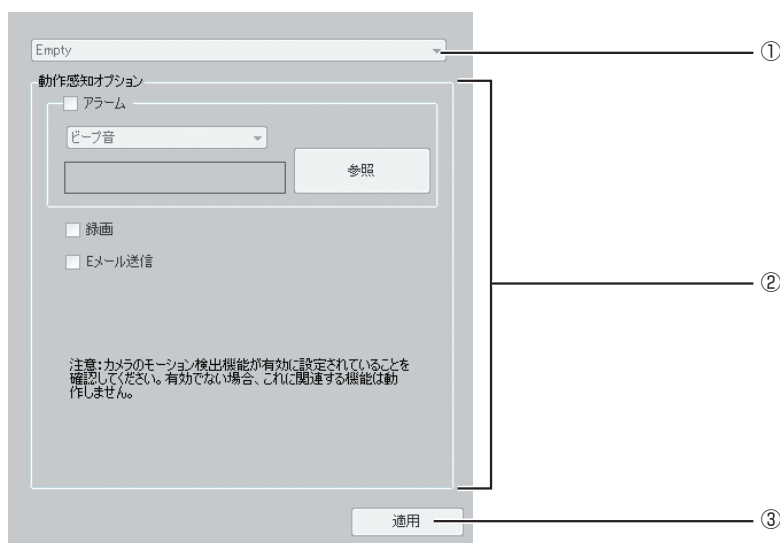
☞ P.72「2.9.4 NC Monitor のスケジュールを設定する」

2.4.5 モーション動作設定

「NC Monitor」でのモーション録画方法を設定します。

■モーション動作設定の表示

［カメラ設定］－「モーション動作設定」の順にクリックします。

■モーション動作設定の項目

① カメラ選択

モーション感知する本商品を選択します。

② 動作感知オプション

モーション感知したときの動作を設定します。

- **アラーム**

  モーション感知したときに音声を鳴らす場合に、チェックを付けます（初期値：無効）。
  ［参照］をクリックし、任意の音声ファイル（wav、mp3）を選択できます。

- **録画**

  モーション感知したときに録画を開始する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

- **E メール送信**

  モーション感知したときに E メールを送信する場合に、チェックを付けます（初期値：無効）。

③ ［適用］

設定を保存します。

詳しい設定方法は、次をご覧ください。

☞ P.118「4.5 NC Monitor で撮影・録画する」

2.4.6 E メール設定

「NC Monitor」から静止画を送信する場合のメールサーバを設定します。

■ E メール設定の表示

［カメラ設定］ー「モーション動作設定」ー「E メール設定」の順にクリックします。

■ E メール設定の項目

① **メール（SMTP）サーバ**
送信元に設定するメールサーバを入力します（初期値：空欄）。

② **送信元アドレス（From）**
送信元に設定するメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

③ **送信先アドレス（To）**
送信先のメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

④ **ログイン名**
送信元に設定するメールアドレスのログイン名を入力します（初期値：空欄）。

⑤ **ログインパスワード**
送信元に設定するメールアドレスのログインパスワードを入力します（初期値：空欄）。

⑥ **件名（Subject）**
送信するメールの件名を入力します（初期値：空欄）。

⑦ **［適用］**
設定を保存します。

2.4.7 画面ロック設定

画面ロックを設定すると、「NC Monitor」画面を操作できないようにロックできます。

■画面ロック設定の表示

［カメラ設定］－「画面ロック設定」の順にクリックします。

■画面ロック設定の項目

① **ユーザ名**

画面ロックを解除するためのユーザ名を設定します（初期値：空欄）。

② **パスワード**

画面ロックを解除するためのパスワードを設定します（初期値：空欄）。

③ **［適用］**

設定を保存します。

2.4.8 その他設定

「NC Monitor」画面のスキャン時間を設定します。

■その他設定の表示

［カメラ設定］－「その他設定」の順にクリックします。

■その他設定の項目

① **更新間隔**

「表示設定」で［スキャン］をする場合の映像の切り替え時間を 2 ～ 20 秒で設定します（初期値：2 秒）。

② **［適用］**

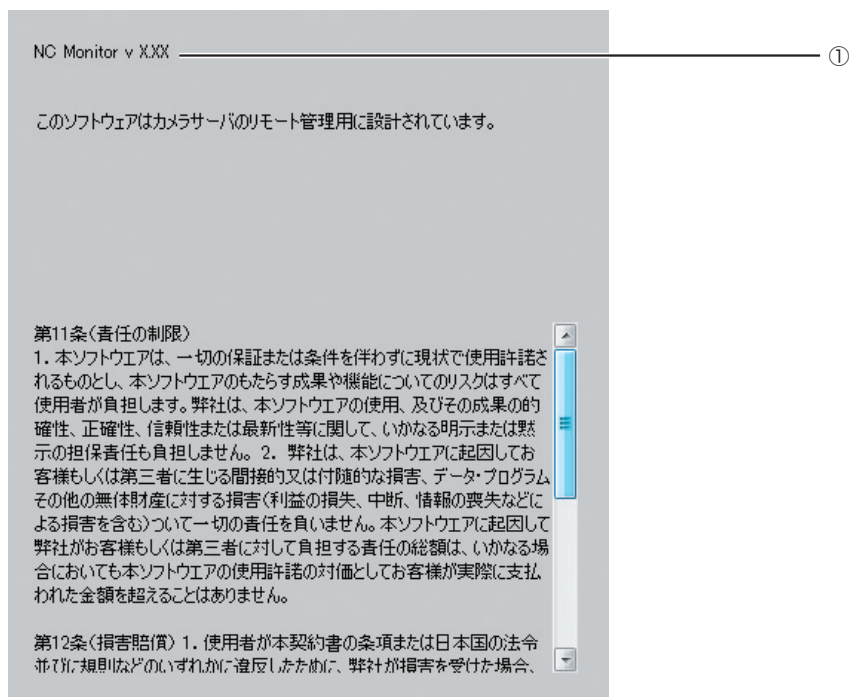
設定を保存します。

2.4.9 バージョン情報

「NC Monitor」のバージョンを表示します。

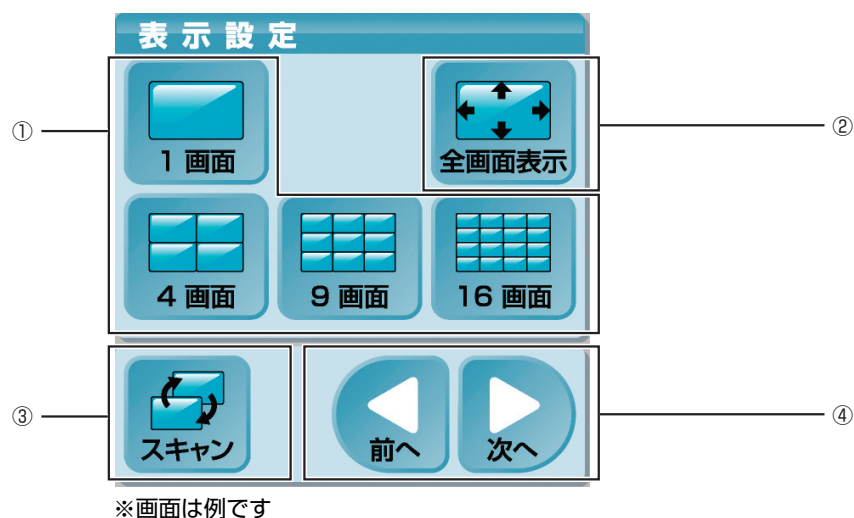
■バージョン情報の表示

［カメラ設定］－「バージョン情報」の順にクリックします。

■バージョン情報の項目

① **バージョン**
「NC Monitor」のバージョンを表示します。

2.5　表示設定

「表示設定」では、「NC Monitor」に登録した映像の表示方法の設定と切り替えができます。

※画面は例です

① [1 画面] ／ [4 画面] ／ [9 画面] ／ [16 画面]

複数の本商品の映像を表示します。

分割表示は 1、4、9、16 分割に対応します。

② [全画面表示]

本商品の映像を全画面で表示します。全画面表示から戻るには、マウスを右クリックし、「戻る」をクリックします。

③ [スキャン]

複数のカメラを分割表示しないで 1 画面で表示している場合に、複数の本商品の映像を一定間隔で自動的に切り替えます。

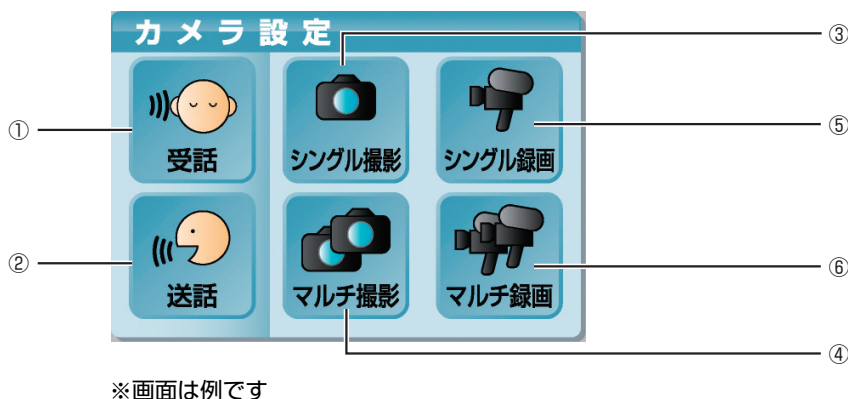
画面の切り替え時間は、P.61「2.4.8　その他設定」で設定します。

④ [前へ] ／ [次へ]

複数の本商品を分割表示しないで 1 画面で表示している場合に、画面に表示する映像を手動で順番に切り替えます。

2.6 カメラ設定

本商品の映像を手動で撮影、録画できます。

※画面は例です

① [受話]（CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL のみ）

お使いのパソコンにスピーカ（別売り）を接続することで、本商品に内蔵するマイクで本商品周りの音を聞けます。

［受話］をクリックして（ボタンが押された状態で）動作します。再度［受話］をクリックすると停止します。

☞ **P.33**「1.6.4　音声（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

② [送話]（CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL のみ）

お使いのパソコンにマイク（別売り）を接続し、本商品の音声出力端子外部スピーカ（別売り）を接続することで、お使いのパソコンのマイクから入力した音声を、本商品に接続したスピーカから出力できます。

［送話］をクリックして（ボタンが押された状態で）動作します。再度［送話］をクリックすると停止します。

☞ **P.33**「1.6.4　音声（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

③ [シングル撮影]

選択した本商品の映像を静止画で撮影します。選択した本商品は外枠が赤く表示されます。

静止画の保存先は、**P.56**「2.4.3　録画設定」で設定します。

④ [マルチ撮影]

登録しているすべての本商品で一斉に撮影します。

⑤ [シングル録画]

選択した本商品の映像を動画で録画します。選択した本商品は外枠が赤く表示されます。

録画を停止する場合は、録画している本商品を選択し、再度「シングル撮影」をクリックします。本商品の状態は映像の下のリストで確認します。

動画の保存先は、**P.56**「2.4.3　録画設定」で設定します。

⑥ [マルチ録画]

登録しているすべての本商品で一斉に録画します。

☞ **P.118**「4.5　NC Monitor で撮影・録画する」

2.7 システム

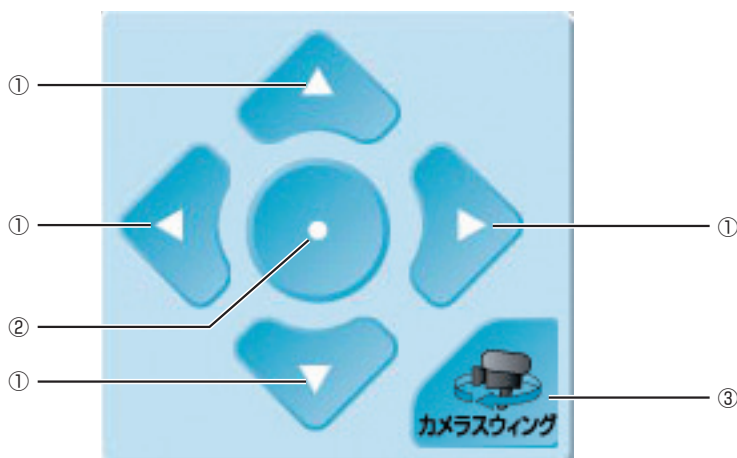
「NC Monitor」の現在の日時を表示します。

※画面は例です

① 時刻

「NC Monitor」の現在の時刻を表示します。
お使いのパソコンの時刻に自動的に同期します。「NC Monitor」で設定するスケジュールはこの日時が基準になります。

2.8　パン・チルト操作（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）

本商品のパン・チルトの操作ができます。

① 上／下／左／右ボタン

カメラの向きを上下左右の方向に移動させます。

パン・チルトの移動間隔の設定については、次の項目をご覧ください。

☞ P.31「1.6.2　パン／チルト設定（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

② センターボタン

カメラの向きを初期位置（正面を撮影する状態）に戻します。

③ カメラスウィング

オートパトロール（自動首振り）を実行します。

オートパトロールについて詳しくは、次の項目をご覧ください。

☞ P.31「1.6.2　パン／チルト設定（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

2.9 NC Monitor を設定する

2.9.1 NC Monitor に本商品を登録する

「NC Monitor」で本商品の映像を閲覧・録画するには、「NC Monitor」に本商品を登録します。

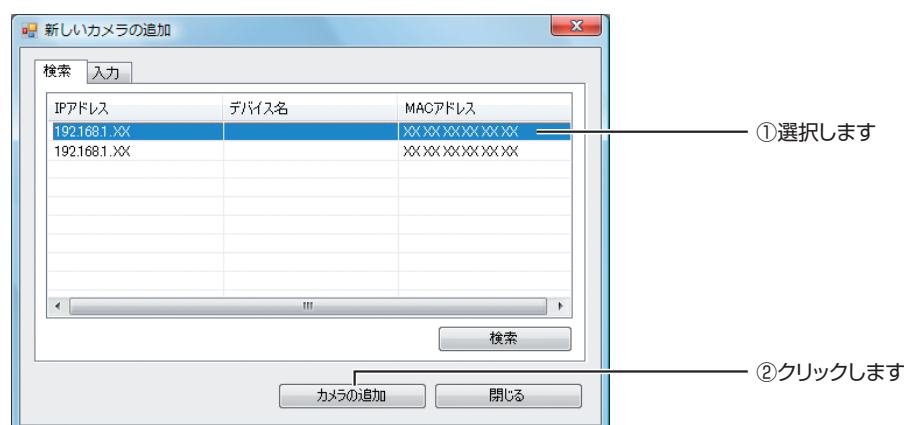
1 「NC Monitor」を起動します。

P.51「2.2 NC Monitor を起動する」

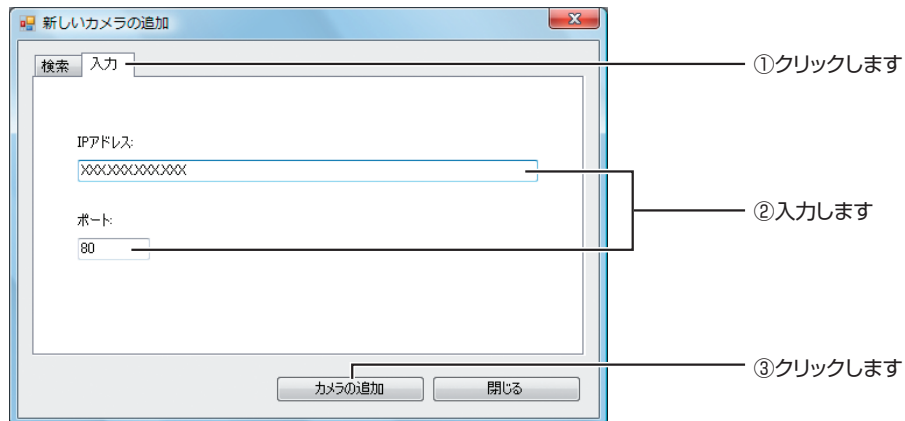
2 ［カメラ設定］－「カメラリスト」－［カメラの追加］の順にクリックします。

3 追加する本商品を選択します。

■検索して追加する場合

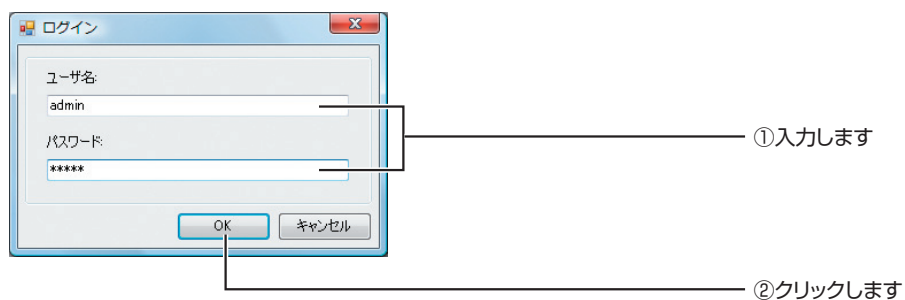
登録したい本商品を選択し、［カメラの追加］をクリックします。

・本商品が見つからない場合は、［検索］をクリックして再検索します。
・同じネットワーク内の本商品のみ自動的に検索されます。インターネットに公開している本商品を追加する場合は手動で入力してください。
・本商品が複数台見つかる場合は、検索された MAC アドレスと、本商品側面または底面の MAC アドレスを確認してください。

■ IP アドレスなどを直接入力して追加する場合

登録したい本商品の IP アドレスなどがわかる場合や、インターネットに公開している本商品を追加する場合は、入力タブをクリックし、追加したい本商品の IP アドレスとポート番号を手動で入力して、［カメラの追加］をクリックします。

登録したい本商品がダイナミック DNS などのドメイン名を持っている場合は、ドメイン名で追加することもできます。

4 ログインの設定をします。

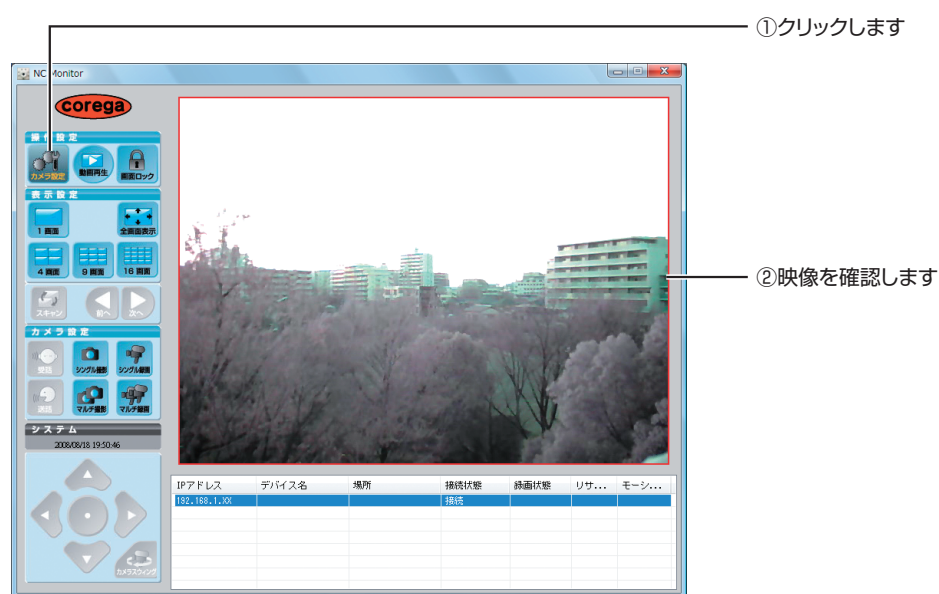
選択した本商品のログイン設定を入力し、［OK］をクリックします。

ユーザ名とパスワードの初期値は「admin」です。

5　「新しいカメラの追加」画面を閉じます。

「新しいカメラの追加」画面で［閉じる］をクリックします。

「カメラリスト」に戻り、本商品が登録されていることを確認します。

6　映像を確認します。

「操作設定」の［カメラ設定］をクリックする（［カメラ設定］が押されていない状態に戻す）と、メイン画面には登録した本商品の映像が表示されます。

※画面は例です

以上で、「NC Monitor」への本商品の登録は完了です。

2.9.2 NC Monitor の状態を更新する

「NC Monitor」で表示している本商品の状態を更新できます。

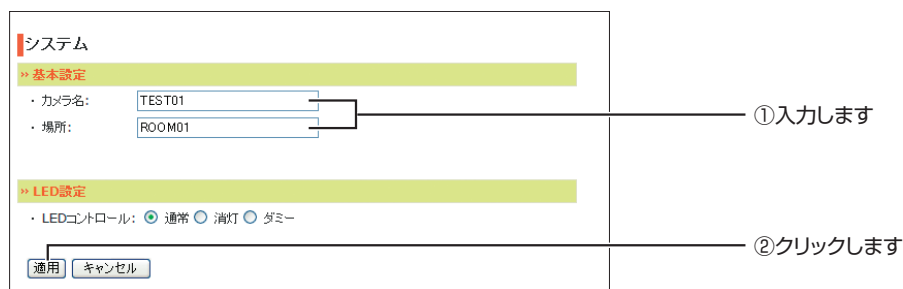
ここでは、次の設定を例に説明します。

カメラ名	TEST01
場所	ROOM01

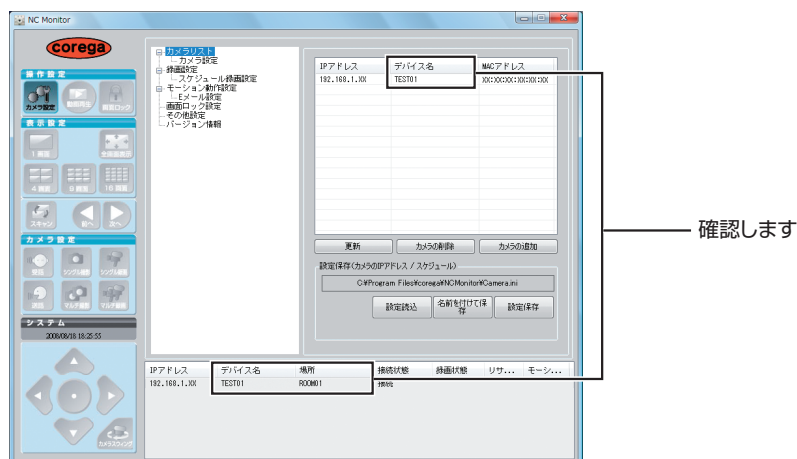
1 **設定画面を表示します。**

P.78「3.1 設定画面を表示する」

2 **「基本設定」－「システム」の順にクリックします。**

3 **「カメラ名」に「TEST01」、「場所」に「ROOM01」と入力し、[適用] をクリックします。**

P.15「1.4.1 システム」

4 **[カメラ設定] －「カメラリスト」－ [更新] の順にクリックします。**

5 **「カメラリスト」や「NC Monitor」下部の「デバイス名」や「場所」が更新されたことを確認します。**

以上で、「NC Monitor」で表示している本商品の状態の更新は完了です。

2.9.3 NC Monitor から本商品を削除する

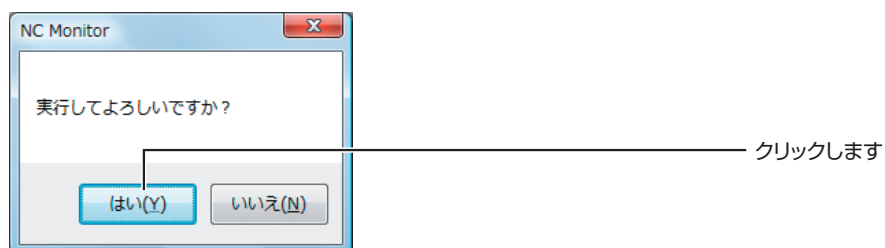
本商品の IP アドレスやダイナミック DNS のドメイン名が変わると、それまでのアドレスでは本商品に通信できなくなるため、本商品を「NC Monitor」に登録し直す必要があります。次の手順で削除してから再度登録し直してください。

1 「NC Monitor」を起動します。

☞ P.51「2.2　NC Monitor を起動する」

2 ［カメラ設定］－「カメラリスト」の順にクリックします。

3 削除したい本商品を選択して、［カメラの削除］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

以上で、登録の削除は完了です。

2.9.4 NC Monitor のスケジュールを設定する

「NC Monitor」でスケジュール録画をするためのスケジュールを設定します。

スケジュールの指定方法によって、設定の手順が異なります。

☞ P.72 「■日付指定で設定する場合」
☞ P.75 「■曜日指定で設定する場合」

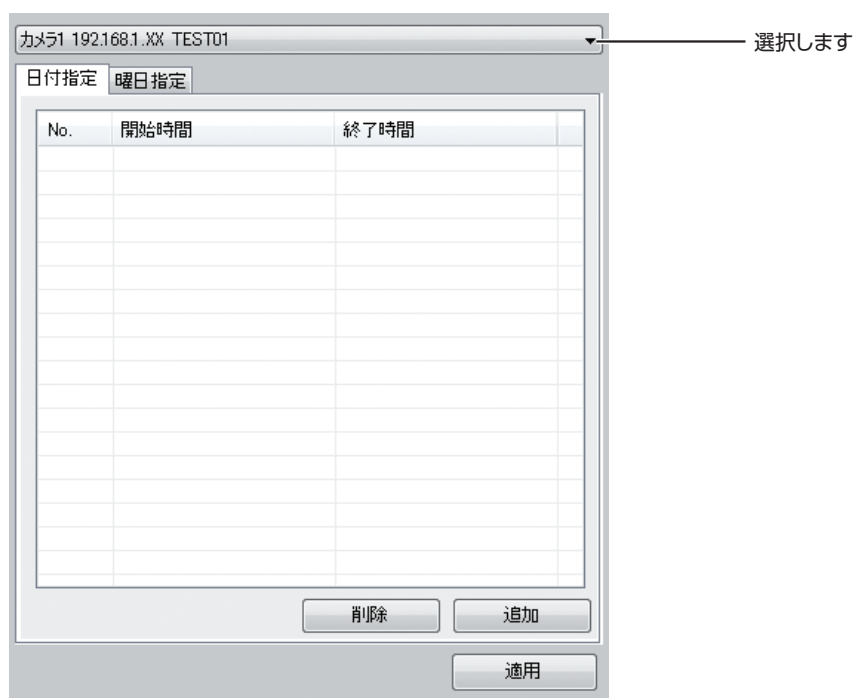
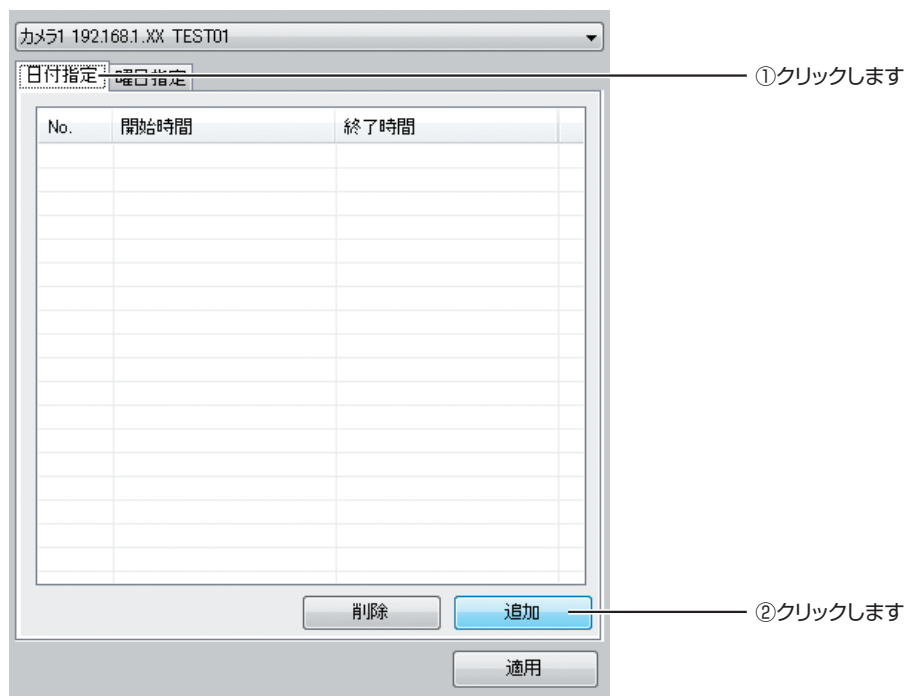
■日付指定で設定する場合

1 「NC Monitor」を起動します。

☞ P.51「2.2 NC Monitor を起動する」

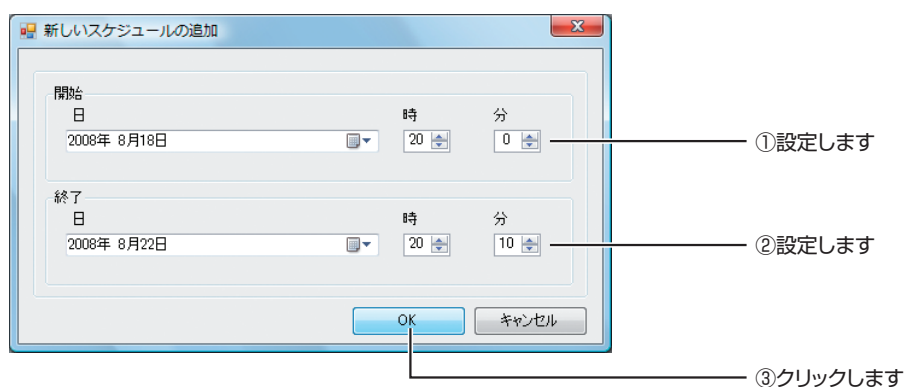
2 [カメラ設定] ー「録画設定」ー「スケジュール録画設定」の順にクリックします。

3 プルダウンメニューからスケジュールを設定する本商品を選択します。

2

4　日時指定タブをクリックし、[追加］をクリックします。

5　開始日時と終了日時を設定し、[OK］をクリックします。

ここでは、次の設定を例に説明します。

開始日時	2008 年 8 月 18 日　20 時 00 分
終了日時	2008 年 8 月 22 日　20 時 10 分

6 追加したスケジュールがリストに表示されていることを確認し、［適用］をクリックします。

以上で、設定は完了です。

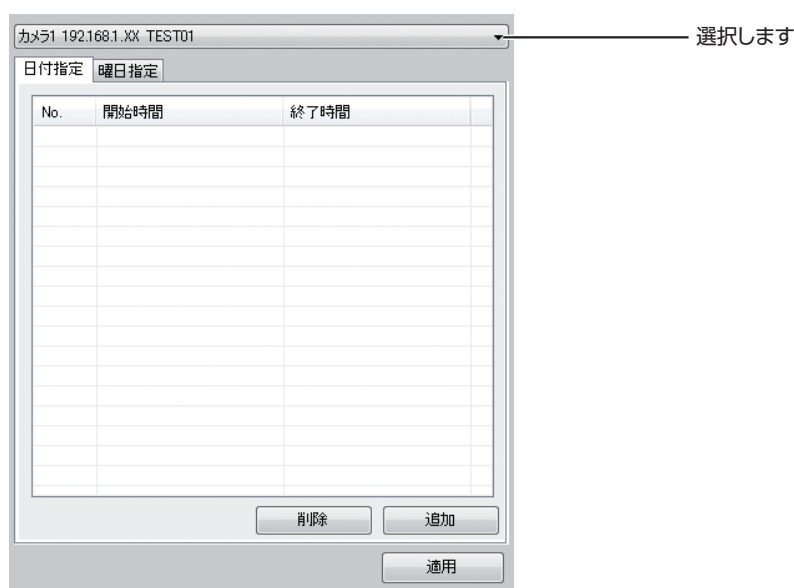
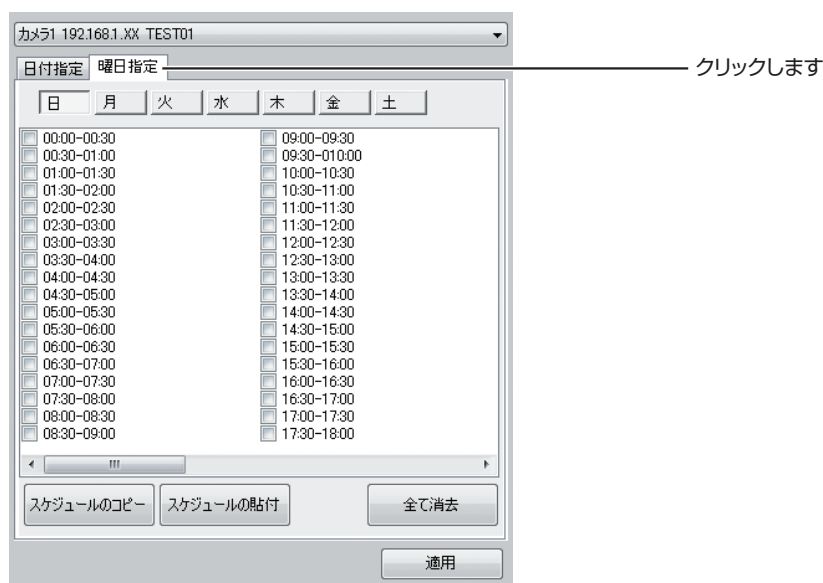
「NC Monitor」で本商品の映像を撮影・録画するスケジュールが設定されました。

■曜日指定で設定する場合

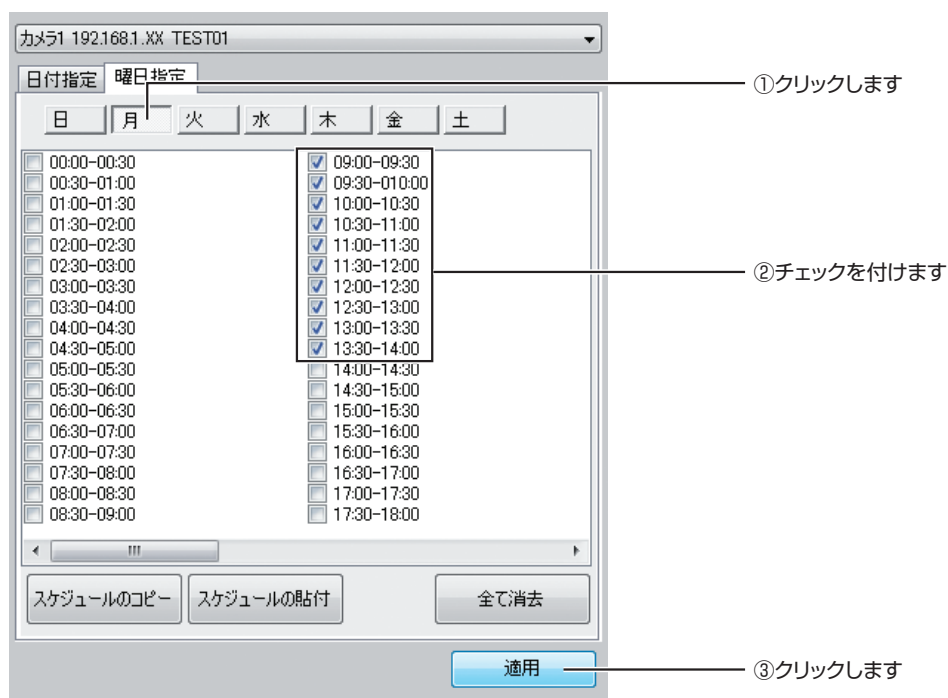
1　「NC Monitor」を起動します。

P.51「2.2　NC Monitor を起動する」

2　［カメラ設定］ー「録画設定」ー「スケジュール録画設定」の順にクリックします。

3　プルダウンメニューからスケジュールを設定する本商品を選択します。

4　曜日指定タブをクリックします。

5 曜日と時間を設定し、[適用] をクリックします。

ここでは、次の設定を例に説明します。

曜日	月曜日
時間	9：00～14:00

以上で、設定は完了です。

「NC Monitor」で本商品の映像を撮影・録画するスケジュールが設定されました。

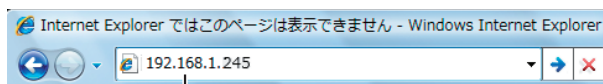
第 3 章
こんなときはこの設定（機能編）

この章では、本商品の機能の設定方法について説明しています。

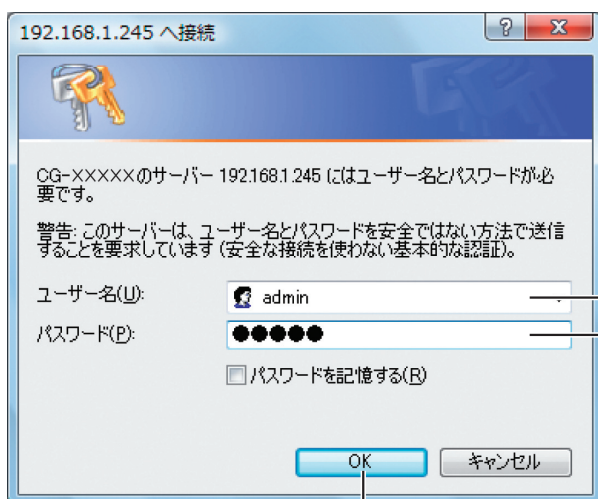
3.1 設定画面を表示する

本商品の設定画面を表示するには Web ブラウザが必要です。本商品に接続している 1 台のパソコンで設定します。Web ブラウザには本商品の推奨ブラウザをご利用ください。そのほかの Web ブラウザでは、正常に設定できない場合があります。

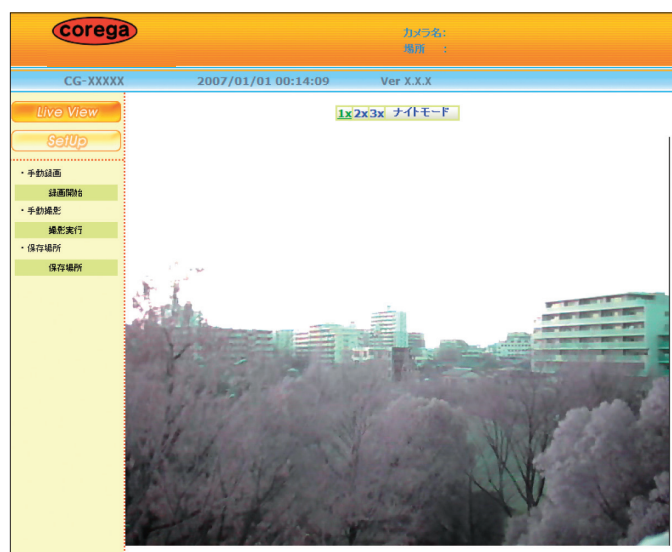
1 Internet Explorer または Safari を起動します。

2 アドレス欄に本商品に設定した IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

※画面は工場出荷時の例です

・設定用パソコンでウィルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品の設定をしてください。設定作業が終了してから再度起動させてください。
・本商品の IP アドレスがわからない場合、同じ LAN 内の本商品のみ「NC Finder」で検索できます。
☞「取扱説明書」「2.3　本商品の設定画面を確認する」

3 「ユーザー名」と「パスワード」の両方に「admin」と入力し、[OK] をクリックします。

※画面は工場出荷時の例です

ユーザー名とパスワードの初期値は「admin」です。

4 設定画面が表示されます。

※画像は例です

以上で、設定画面が表示されました。

設定画面の基本的な操作は、P.80「3.2 設定画面で設定する」をご覧ください。

Macintosh（Safari）では、設定画面の「Live View」画面で映像を見ることのみ対応します。「Live View」画面での手動録画、手動撮影および「SetUp」画面での設定には対応していません。

3.2 設定画面で設定する

設定画面での基本的な操作を説明します。

1 ［SetUp］をクリックします。

2 画面左側のメニューをクリックします。

各設定画面が表示されます。

※画面は「基本設定」の「システム」の例です

3 必要な項目を設定します。

直接入力したり、プルダウンメニューやラジオボタンで選択したり、チェックボックスにチェックを付けたりして、必要な項目を設定します。

4 正しく設定したことを確認し、［適用］または［保存］をクリックします。

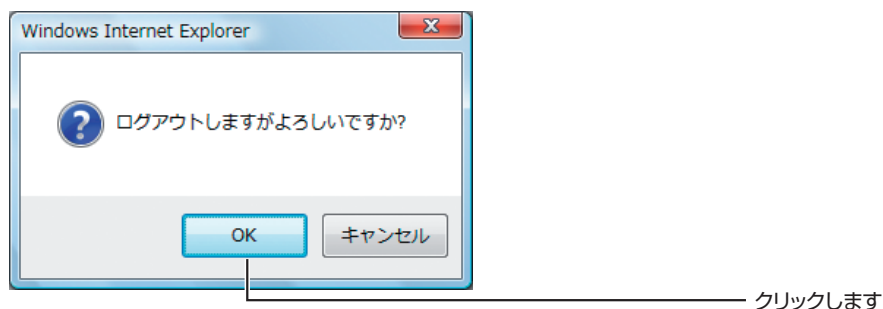
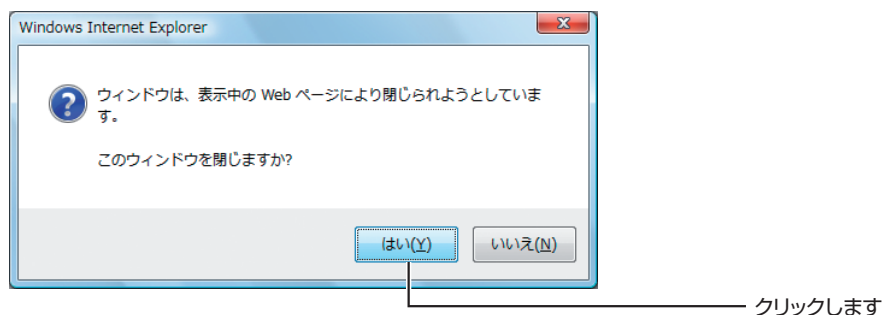
［適用］または［保存］をクリックすると、設定が有効になります。設定項目によっては、本商品が再起動することがあります。

※画面は例です

・［適用］をクリックしたあとに設定を取り消すことはできません。
・［適用］をクリックする前に設定前の状態に戻すには、［キャンセル］または［戻る］をクリックするか、または画面左側のメニューをクリックします。

5　設定を終了するには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。

※画面は例です

6　［OK］をクリックします。

7　［はい］をクリックします。

以上が、設定画面の基本的な操作です。

3.3 接続できるユーザを設定する

本商品の「Live View」を表示できるユーザの追加や削除は、次の手順で設定できます。

P.82「3.3.1　ユーザを追加する」
P.84「3.3.2　ユーザを削除する」

ユーザは「一般ユーザ」と「ゲスト」の合計で 11 ユーザまで設定できます。
P.17「1.4.3　ユーザ管理」

3.3.1 ユーザを追加する

1　**設定画面を表示します。**

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　**[SetUp] －「基本設定」－「ユーザ管理」の順にクリックします。**

3　**次のように設定します。**

ここでは次の設定を例に説明します。

追加するユーザ	test01
パスワード	●●●●●●

※パスワードは表示されません

①「一般ユーザ」の「ユーザ名」と「パスワード」に新しいユーザを入力します。
②［追加 / 変更］をクリックします。

4　設定したユーザが「ユーザリスト」に入ります。

以上で、ユーザの追加は完了です。

3.3.2 ユーザを削除する

1 設定画面を表示します。

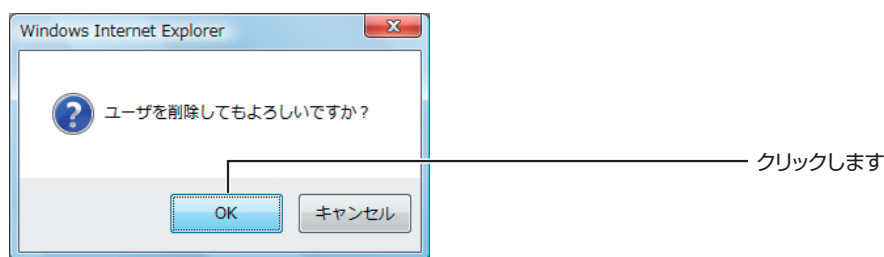
☞ P.78「3.1 設定画面を表示する」

2 [SetUp] －「基本設定」－「ユーザ管理」の順にクリックします。

3 次のように設定します。

①「一般ユーザ」から削除するユーザを選択します。

② [削除] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

以上で、ユーザの削除は完了です。

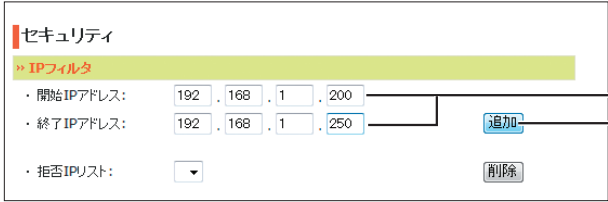
3.4　接続できる IP アドレスを設定する

「IP フィルタ」を使用すると、特定の IP アドレスからの本商品への接続を拒否できます。

拒否リストへの追加と削除は次の手順で設定します。

P.85「3.4.1　拒否 IP リストに追加する」
P.86「3.4.2　拒否 IP リストから削除する」

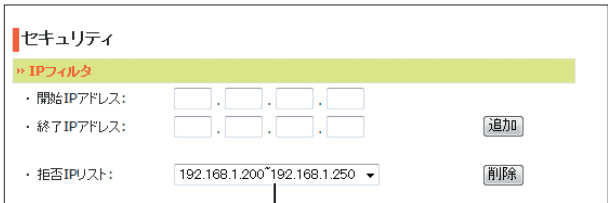
3.4.1 拒否 IP リストに追加する

1　**設定画面を表示します。**

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　**［SetUp］－「基本設定」－「セキュリティ」の順にクリックします。**

3　**次のように設定します。**

ここでは、次の設定を例に説明します。

本商品への接続を拒否する IP アドレス	192.168.1.200 ～ 192.168.1.250

① 本商品への接続を拒否したい IP アドレスを範囲で入力します。

②［追加］をクリックします。

1 つのアドレスだけ入力する場合は、「開始 IP アドレス」と「終了 IP アドレス」に同じアドレスを入力してください。

4　**設定したユーザが「拒否 IP リスト」に入ります。**

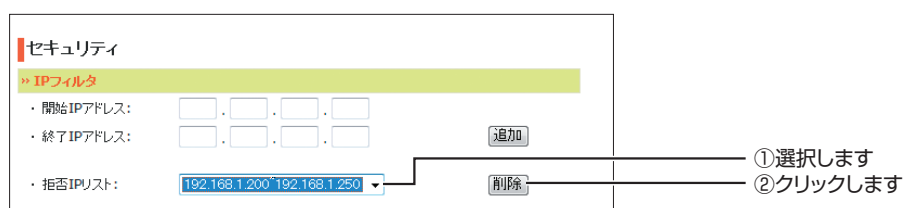
以上で、拒否 IP リストへの追加は完了です。
追加した IP アドレスからの接続を拒否します。

3.4.2 拒否 IP リストから削除する

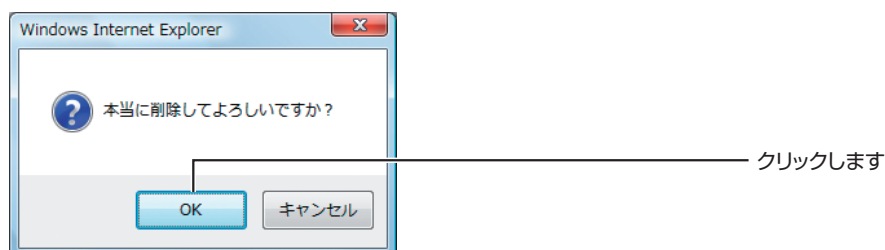
1 **設定画面を表示します。**

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 **［SetUp］－「基本設定」－「セキュリティ」の順にクリックします。**

3 **次のように設定します。**

①「拒否 IP リスト」から削除する IP アドレスを選択します。

②［削除］をクリックします。

4 **［OK］をクリックします。**

以上で、拒否リストからの削除は完了です。

第 4 章
こんなときはこの設定（撮影・録画編）

この章では、本商品を使った撮影・録画方法について説明しています。これらはすべて本商品がネットワークに接続していることを前提としています。

4.1　モーション感知を設定する

モーション感知を設定することで、モーションを感知して撮影・録画できるようになります。

4.1.1 モーション感知を設定する

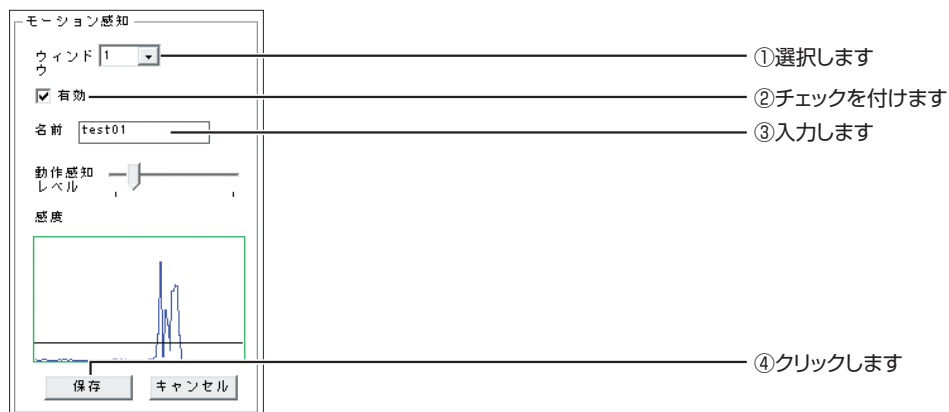
モーション感知は次の手順で設定します。ここでは、次の設定を例に説明します。

ウィンドウ 1	test 01
ウィンドウ 2	test 02

1　**設定画面を表示します。**

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

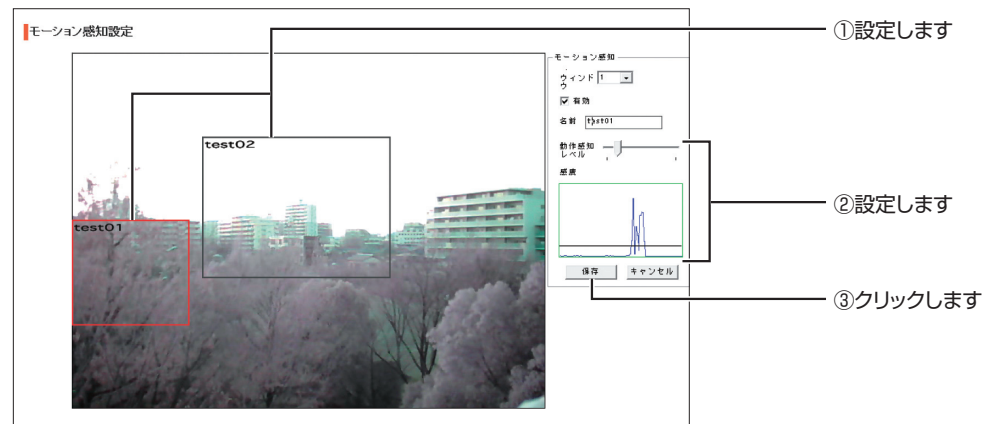
2　**［SetUp］－「モーション感知設定」の順にクリックします。**

3　**モーション感知を有効にします。**

①「ウィンドウ」のプルダウンメニューで、ウィンドウを選択します。選択したウィンドウは、画面上で赤枠で表示されます。

②「有効」にチェックを付けます。

③ ウィンドウに名前を付けると、画面上で名前が表示されます。

④［保存］をクリックします。

4　感度と領域を設定します。

※画面は例です

① モーション感知する領域を設定します。マウスを操作して、画面上で選択したウィンドウ（領域）の大きさを変更したり、位置を移動したりできます。

② 感度を設定します。「動作感知レベル」のスライドを左に移動すると、「感度」のしきい値が下がり、変化の小さい映像でも感知します。「動作感知レベル」のスライドを右に移動すると、「感度」のしきい値が上がり、変化の小さい映像は感知しません。

③［保存］をクリックします。

以上で、本商品のモーション感知の設定は完了です。

4.1.2 モーション感知を変更する

設定したモーション感知は、設定と同じ手順で変更できます。

モーション感知の設定を初期設定に戻すには、本商品を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）必要があります。

☞ P.135「5.5 工場出荷時の状態（初期値）に戻すには」

4.2 スケジュールを設定する

スケジュールを設定することで、スケジュールに従って撮影・録画できるようになります。

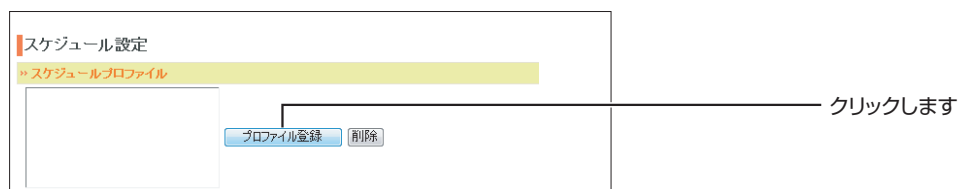
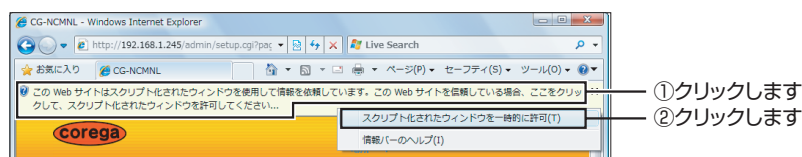
4.2.1 スケジュールプロファイルを登録する

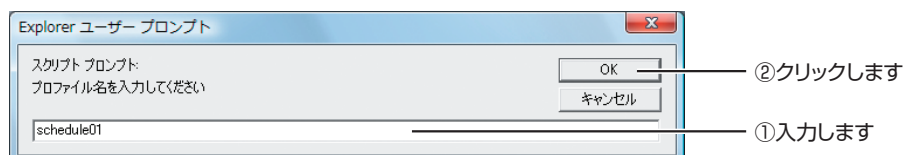
スケジュールは次の手順で登録します。

1　設定画面を表示します。

 P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　［SetUp］－「スケジュール設定」の順にクリックします。

3　［プロファイル登録］をクリックします。

［プロファイル登録］をクリックすると、次の画面が表示される場合があります。このときは、表示された文章をクリックし、「スクリプト化されたウィンドウの実行を一時的に許可」をクリックして、再度［プロファイル登録］をクリックしてください。

4　スケジュール名を設定します。

ここでは、「schedule01」で設定します。

5　スケジュールを設定します。

ここでは、次の設定を例に説明します。

曜日	月曜日
時間	9:00 ～ 14:00
E メール送信間隔※	20 秒

※ E メール送信時のみ。FTP サーバ使用時は無視されます。

①「プロファイル名」で「schedule01」を選択します。

②「曜日」で「月」を選択します。

③「開始時間」に「9:00」、「終了時間」に「14:00」を入力します。

④「E メール送信間隔」に「20 秒」を入力します。

⑤［登録］をクリックします。

⑥「時間リスト」に登録されたことを確認して、［保存］をクリックします。

以上で、スケジュールの登録は完了です。

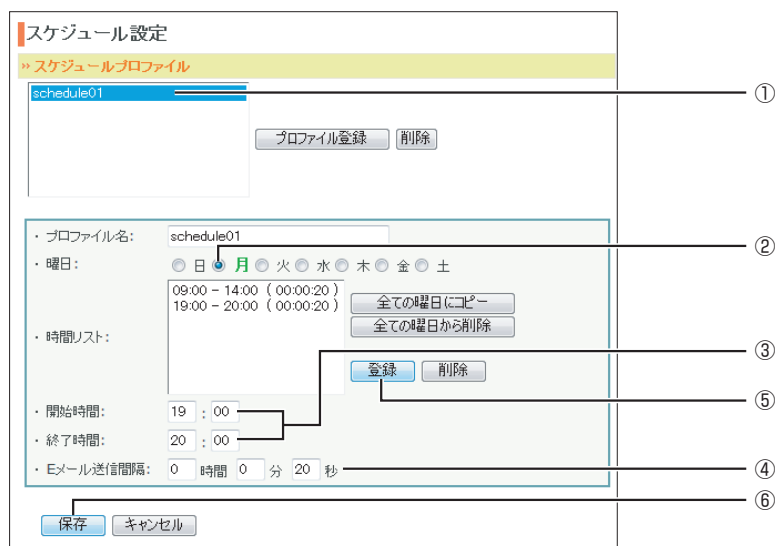
登録したスケジュールは、「保存先設定」で使用します。

☞ P.36「1.9　保存先設定」

☞ P.95「4.3.1　静止画を FTP サーバにアップロードする」

☞ P.101「4.3.2　静止画を E メールで送信する」

4.2.2 スケジュールを追加する

登録した手順と同様の手順で、登録したスケジュールプロファイルにスケジュールを追加できます。

☞ P.90 「4.2.1 スケジュールプロファイルを登録する」

1 次の手順でスケジュールを追加します。

ここでは、次の設定を例に説明します。

曜日	月曜日
時間	19:00 ～ 20:00
E メール送信間隔※	20 秒

※ E メール送信時のみ。FTP サーバ使用時は無視されます。

①「schedule01」を選択します。

②「曜日」で「月」を選択します。

③「開始時間」に「19:00」、「終了時間」に「20:00」を入力します。

④「E メール送信間隔」に「20 秒」を入力します。

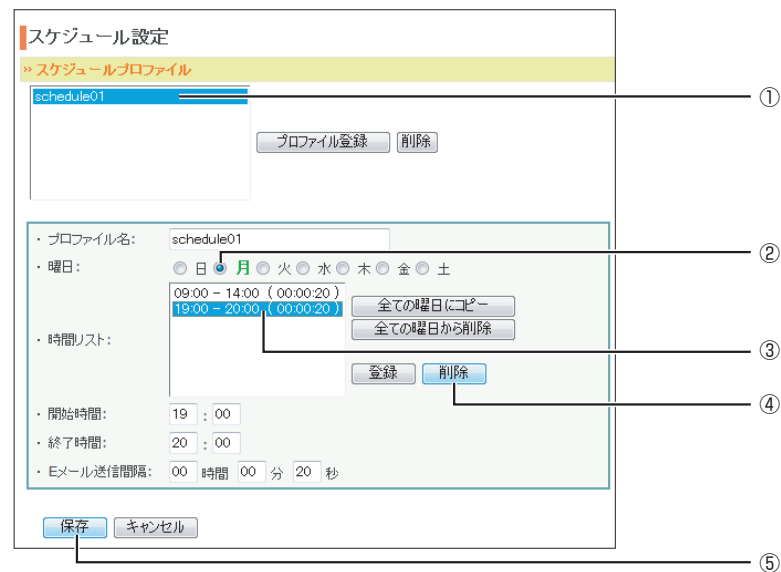
⑤［登録］をクリックします。

⑥「時間リスト」に登録されたことを確認して、［保存］をクリックします。

以上で、スケジュールの追加は完了です。

4.2.3 スケジュールを削除する

スケジュールは、次の手順で削除できます。
ここでは、スケジュールプロファイル「schedule01」から、「開始時間 19:00 ～終了時間 20:00」のスケジュールを削除する例を説明します。

1 次の手順でスケジュールを削除します。

①「schedule01」を選択します。

②「曜日」で「月」を選択します。

③「時間リスト」で「19：00ー20:00」を選択します。

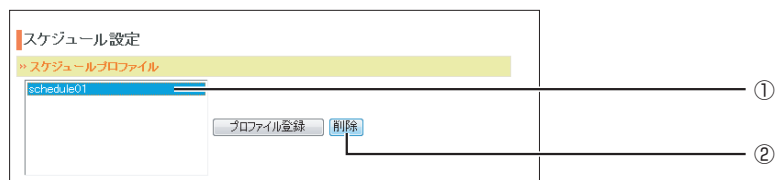
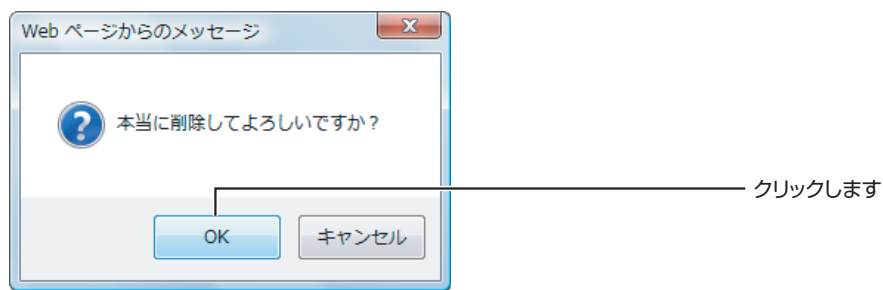
④［削除］をクリックします。

⑤「時間リスト」から削除されたことを確認し、［保存］をクリックします。

以上で、スケジュールの削除は完了です。

4.2.4 スケジュールプロファイルを削除する

登録したスケジュールプロファイルは、次の手順で削除できます。

1 スケジュールプロファイルを選択し、[削除]をクリックします。

2 [OK]をクリックします。

以上で、スケジュールプロファイルの削除は完了です。

4.3　ネットワークカメラで自動的に撮影・録画する

本商品に設定することで、本商品が設定に従って自動的に撮影した静止画を E メールで送信したり、FTP サーバにアップロードしたりできます。

4.3.1 静止画を FTP サーバにアップロードする

静止画を FTP サーバにアップロードする設定を説明します。

■スケジュールでアップロードする

スケジュールに従って、静止画を FTP サーバにアップロードします。

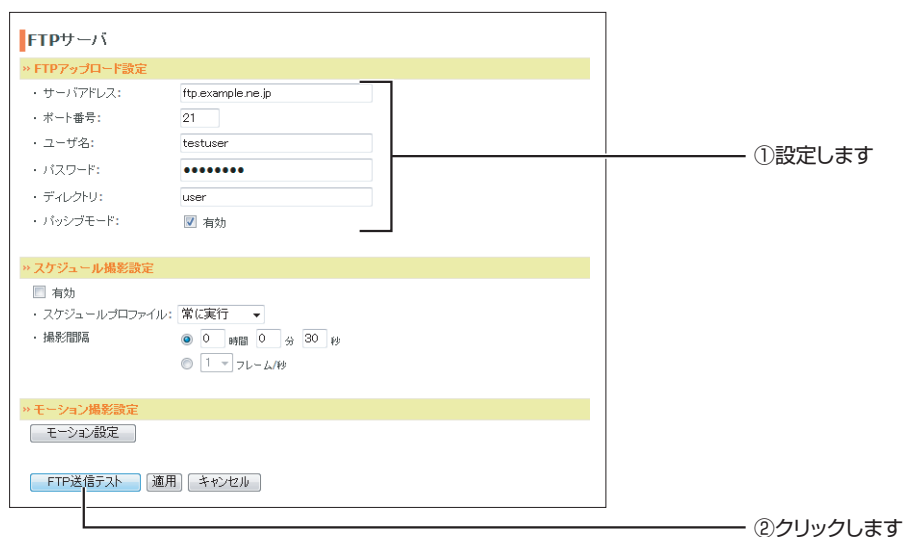
1 設定画面を表示します。

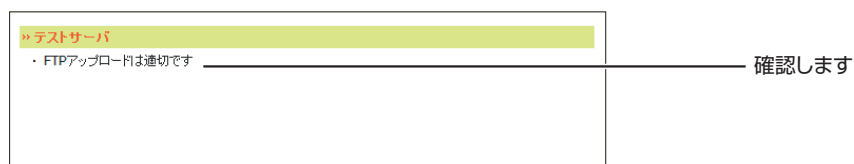
☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 ［SetUp］－「スケジュール設定」の順にクリックします。

3 スケジュールを設定します。

ここでは、P.90「4.2　スケジュールを設定する」で設定したスケジュールを例に説明します。

スケジュール	schedule01
曜日	月曜日
時間	9:00 ～ 14:00

4 「保存先設定」－「FTP サーバ」の順にクリックします。

5 静止画をアップロードする FTP サーバを設定し、[FTP 送信テスト]をクリックします。

ここでは、次の FTP サーバを例に説明します。

FTP のサーバアドレス	ftp.example.ne.jp
使用するポート番号	21
FTP のユーザ名	testuser
パスワード	●●●●●●●●
保存先のディレクトリ	user
パッシブモード	有効

※パスワードは表示されません

※画像は CG-NCMNL の例です

6 FTP サーバへのアップロードテストが成功したことを確認し、ウィンドウを閉じます。

アップロードテストに失敗した場合は、再度 FTP サーバの設定を確認してください。

7　**「スケジュール撮影設定」でスケジュールの「有効」にチェックを付け、「スケジュール設定」でスケジュールを選択し、撮影間隔を設定して、［適用］をクリックします。**

ここでは、次の設定を例に説明します。

スケジュール	schedule01
撮影間隔	30 秒

※画像は CG-NCMNL の例です

以上で、設定は完了です。

設定したスケジュールと撮影間隔に従って、静止画がFTPサーバにアップロードされます。

■モーション感知でアップロードする

モーション感知に従って、静止画を FTP サーバにアップロードします。

1 「モーション感知設定」で感度や領域を設定します。

ここでは、P.88「4.1　モーション感知を設定する」で設定した内容を例に説明します。

2 「保存先設定」－「FTP サーバ」の順にクリックします。

3 静止画をアップロードする FTP サーバを設定し、[FTP 送信テスト]をクリックします。

ここでは、次の FTP サーバを例に説明します。

FTP のサーバアドレス	ftp.example.ne.jp
使用するポート番号	21
FTP のユーザ名	testuser
パスワード	●●●●●●●●
保存先のディレクトリ	user
パッシブモード	有効

※パスワードは表示されません

※画像は CG-NCMNL の例です

4 FTP サーバへのアップロードテストが成功したことを確認し、ウィンドウを閉じます。

アップロードテストに失敗した場合は、再度 FTP サーバの設定を確認してください。

5 [モーション設定] をクリックします。

※画像は CG-NCMNL の例です

6 「モーション録画」の「有効」にチェックを付け、「スケジュール設定」でモーション感知するスケジュールを選択し、保存方法で「FTP アップロード」にチェックを付けて、［適用］をクリックします。

ここでは、スケジュールで設定した時間内にモーション感知する設定を例に説明します。

7 「FTP サーバ」で［適用］をクリックします。

以上で、設定は完了です。

設定した時間内にモーション感知した静止画が FTP サーバにアップロードされます。

4.3.2 静止画を E メールで送信する

静止画を E メールで送信する設定を説明します。

■スケジュールで送信する

スケジュールに従って、静止画を E メールで送信します。

1 **設定画面を表示します。**

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 **［SetUp］－「スケジュール設定」の順にクリックします。**

3 **スケジュールを設定します。**

ここでは、P.90「4.2　スケジュールを設定する」で設定したスケジュールを例に説明します。

スケジュール	schedule01
曜日	月曜日
時間	9:00 ～ 14:00
Eメール送信間隔	20 秒

4 **「保存先設定」－「E メール」の順にクリックします。**

5　静止画を送信するEメールアドレスを設定し、[メール送信テスト]をクリックします。

ここでは、次のEメールアドレスを例に説明します。

メール（SMTP）サーバアドレス	mail.example.ne.jp
ポート番号	25
送信元アドレス	from@example.ne.jp
認証モード	SMTP
ユーザ名	user
パスワード	●●●●●●●●
送信先アドレス１	aaa@bbb.ne.jp
送信先アドレス２	ccc@ddd.ne.jp
Eメール件名	カメラ画像のメール通知
Eメール本文	添付ファイルを確認してください。
Eメール本文へのカメラIP表示	表示する
画像添付	添付する
WAN側IPの変更	通知しない

※パスワードは表示されません

6　**送信テストが成功したことを確認し、画面を閉じます。**

送信テストに失敗した場合は、再度メールの設定を確認してください。

7　**「スケジュール撮影設定」でスケジュールの「有効」にチェックを付け、「スケジュール設定」でスケジュールを選択し、撮影間隔を設定して、［適用］をクリックします。**

ここでは、次の設定を例に説明します。

スケジュール	schedule01
撮影間隔	スケジュールプロファイルの E メール送信間隔を使用する

以上で、設定は完了です。

設定したスケジュールと撮影間隔に従って、静止画がメールで送信されます。

■モーション感知で送信する

モーション感知に従って、静止画をメールで送信します。

1 「モーション感知設定」で感度や領域を設定します。

ここでは、P.88「4.1 モーション感知を設定する」で設定した内容を例に説明します。

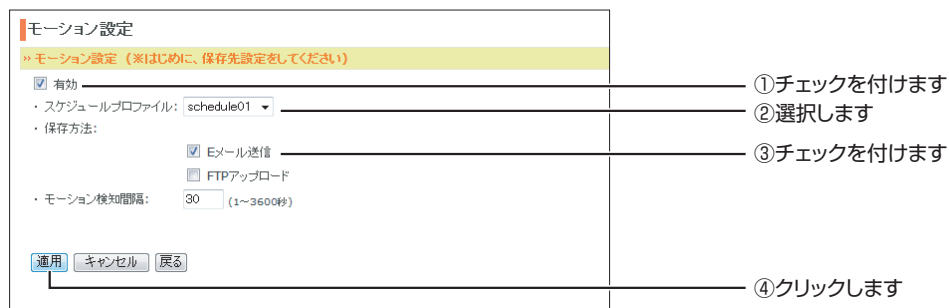
2 「保存先設定」－「E メール」の順にクリックします。

3 静止画を送信する E メールアドレスを設定し、[メール送信テスト] をクリックします。

ここでは、次の E メールアドレスを例に説明します。

メール（SMTP）サーバアドレス	mail.example.ne.jp
ポート番号	25
送信元アドレス	from@example.ne.jp
認証モード	SMTP
ユーザ名	user
パスワード	●●●●●●●●
送信先アドレス 1	aaa@bbb.ne.jp
送信先アドレス２	ccc@ddd.ne.jp
E メール件名	カメラ画像のメール通知
E メール本文	添付ファイルを確認してください。
E メール本文へのカメラ IP 表示	表示する
画像添付	添付する
WAN 側 IP の変更	通知しない

※パスワードは表示されません

4　送信テストが成功したことを確認し、画面を閉じます。

送信テストに失敗した場合は、再度メールの設定を確認してください。

5 ［モーション設定］をクリックします。

6 「モーション録画」の「有効」にチェックを付け、「スケジュール設定」でモーション感知するスケジュールを選択し、保存方法で「E メール送信」にチェックを付けて、［適用］をクリックします。

ここでは、スケジュールで設定した時間内にモーション感知する設定を例に説明します。

7 「E メール」で［適用］をクリックします。

以上で、設定は完了です。

設定した時間内にモーション感知した静止画がメールで送信されます。

4.4 パソコンから「Live View」で撮影・録画する

パソコンに「NC Monitor」をインストールしなくても、本商品の設定画面の「Live View」で手動で静止画や動画を保存できます。

- Macintosh では「Live View」での閲覧のみに対応します。静止画や動画の保存はできません。
- 複数台のパソコンから同時に保存することはできません。複数台のパソコンで録画する場合は「NC Monitor」を使用してください。

4.4.1 静止画をパソコンに保存する

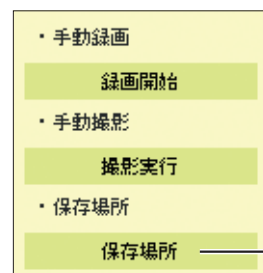
「Live View」で静止画をパソコンに保存する手順を説明します。

■手動で保存する

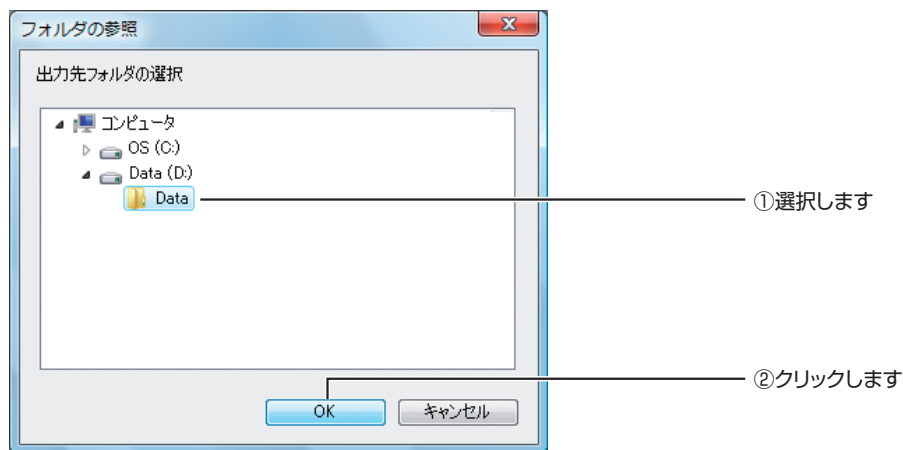
静止画を手動で保存する手順は次のとおりです。

- 【Windows Vista のみ】Internet Explorer の保護モードをオフにしてください。
- 【Windows Vista のみ】書き込み権限のあるフォルダのみ保存できます。

1 設定画面で「Live View」を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 ［保存場所］をクリックします。

3　保存場所を設定します。

ここでは、D ドライブ（D:）の Data フォルダを例に設定します。

4　［撮影実行］をクリックします。

以上で、クリックしたときの映像が指定した保存場所に静止画として保存されます。

4.4.2 動画をパソコンに保存する

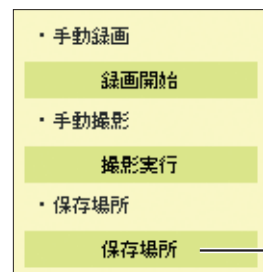
「Live View」で動画をパソコンに保存する手順を説明します。

■手動で保存する

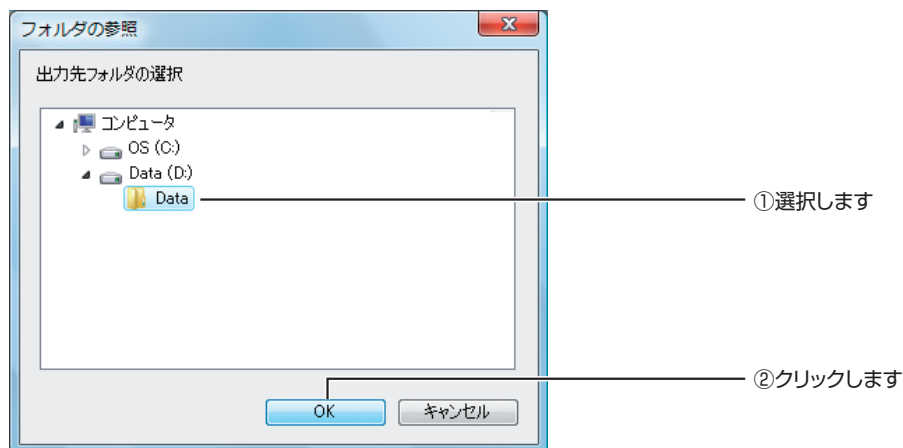
動画を手動で保存する手順は次のとおりです。

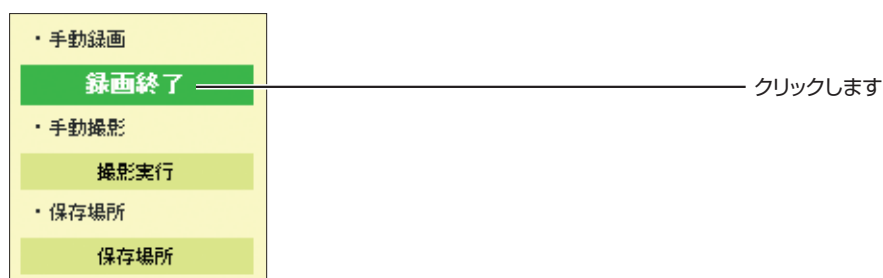
・【CG-NCPTL ／ CG-WLNCPTGL のみ】録画中にパン・チルト操作をすると、動作音が録音されることがあります。
・【Windows Vista のみ】Internet Explorer の保護モードをオフにしてください。
・【Windows Vista のみ】書き込み権限のあるフォルダのみ保存できます。

1 設定画面で「Live View」を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 ［保存場所］をクリックします。

3 保存場所を設定します。

ここでは、D ドライブ（D:）の Data フォルダを例に設定します。

4 ［録画開始］をクリックします。

5 ［録画終了］をクリックして、録画を終了します。

以上で、録画した動画が指定した保存場所に保存されます。

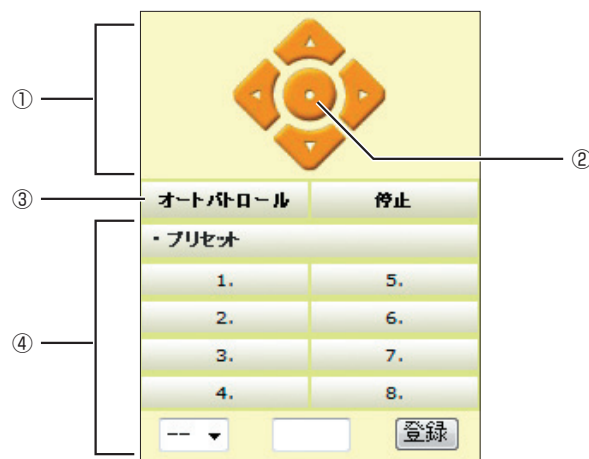
4.4.3 パン・チルト操作をする（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）

本商品のパン・チルト（首振り）操作の手順を説明します。

「NC Monitor」での操作については、次の項目をご覧ください。
P.66「2.8 パン・チルト操作（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）」

1 設定画面で「Live View」を表示します。

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 次のように操作します。

① 上／下／左／右ボタン

カメラの向きを上下左右の方向に移動させます。

パン・チルトの移動間隔の設定については、次の項目をご覧ください。

P.31「1.6.2 パン／チルト設定（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ)」

② センターボタン

カメラの向きを初期位置（正面を撮影する状態）に戻します。

③ オートパトロール

オートパトロール（自動首振り）を実行します。［停止］をクリックすると、中止します。

オートパトロールを実行すると、「プリセット」に登録された １ ～ ８ の順に向きを変え、自動的に停止します。

オートパトロール待機時間の設定については、次の項目をご覧ください。

P.31「1.6.2 パン／チルト設定（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ)」

④ プリセット

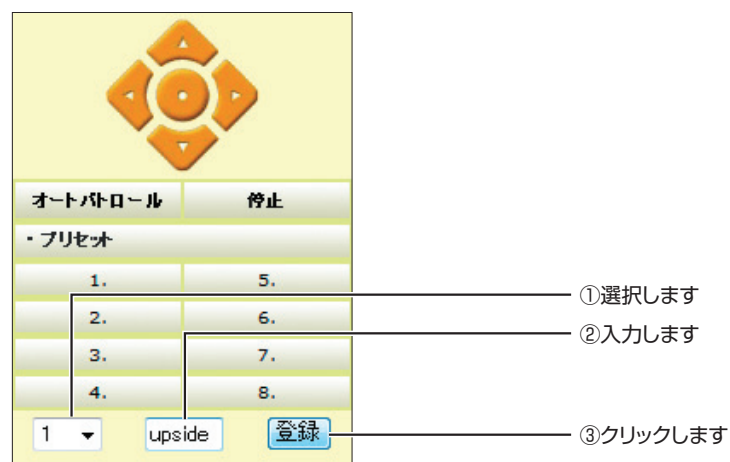
カメラの向きを登録できます。詳しくは、次の項目をご覧ください。

P.113「■ カメラの向きを登録する（プリセット)」

■カメラの向きを登録する（プリセット）

カメラの向きをあらかじめ登録しておくことで、クリックするだけでカメラの向きを固定できます。また、オートパトロールを実行したときに、プリセットの番号順に向きを変えます。

1　設定画面で「Live View」を表示し、上／下／左／右ボタンでカメラの向きを決めます。

2　プリセット番号を選択し、名前を付けて、［登録］をクリックします。

※画面は例です

3　必要な方向をすべて登録します。

※画面は例です

4 プリセット番号をクリックすると、登録した方向に向きを変えます。

※画面は例です

5 [オートパトロール] をクリックすると、プリセット番号 1 ～ 8 の順で向きを変え、停止します。

オートパトロールを中止するには、[停止] をクリックしてください。

※画面は例です

以上で、設定は完了です。

4.4.4 受話・送話する（CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ）

本商品の受話・送話の設定と操作の手順を説明します。

■マイク・スピーカを準備する

次の表をご覧のうえ、受話と送話に必要な機器を用意して、本商品とパソコンに接続します。

	必要な機器	
	パソコン	カメラ
受話（音声モニタ）	スピーカ（別売り）	内蔵マイク
送話	マイク（別売り）	スピーカ（別売り）

■本商品の音声を設定する

次の手順で、本商品の音声を設定します。

1 **設定画面を表示します。**

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 **[SetUp] ―「カメラ設定」―「音声」の順にクリックします。**

3 **次のように設定します。**

① 受話する場合にチェックを付けます。

② 送話する場合にチェックを付けます。

③ 送話する場合にボリュームを設定します。

④ クリックします。

以上で、本商品の設定は完了です。

■受話する

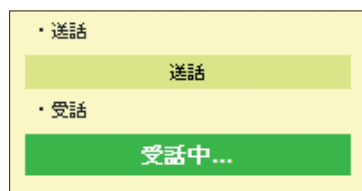
次の手順で受話します。

1　「Live View」を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　[受話]をクリックします。

3　[受話中]に変わります。

[受話中]は本商品の周りの音をパソコンで聞けます。

以上で、受話は完了です。

[受話中]をクリックすると、受話は終了します。

■送話する

次の手順で受話します。

1　「Live View」を表示します。

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　［送話］をクリックします。

3　［送話中］に変わります。

［送話中］はパソコンのマイクに入力した音を、本商品のスピーカから出力できます。

以上で、送話は完了です。

［送話中］をクリックすると、送話は終了します。

4.5 NC Monitor で撮影・録画する

「NC Monitor」を使用して本商品の映像をパソコンに撮影・録画できます。「NC Monitor」では複数台の本商品を管理できます。

Macintosh は「NC Monitor」に対応していません。

4.5.1 静止画をパソコンに保存する

「NC Monitor」で静止画をパソコンに保存する手順を説明します。

■手動で保存する

「NC Monitor」で静止画を手動でパソコンに保存する手順は次のとおりです。

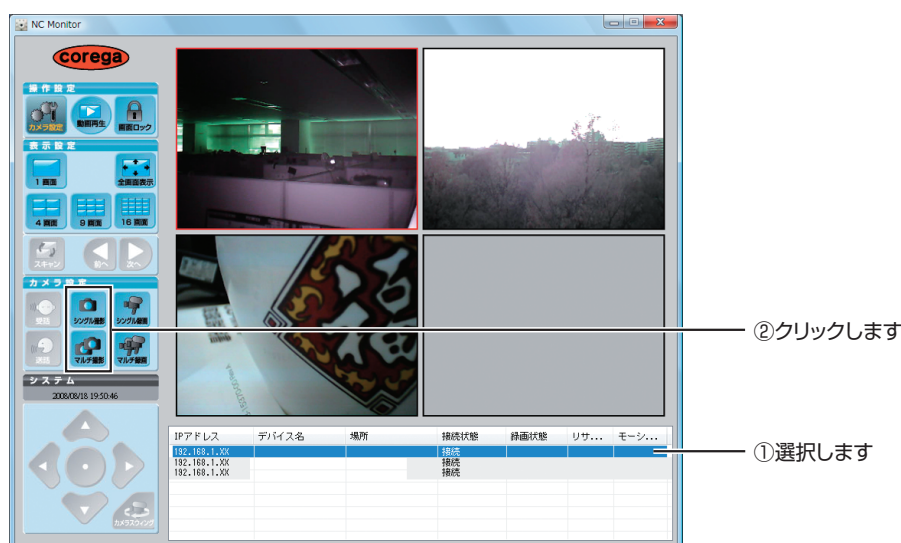
1 「NC Monitor」を起動します。

P.51「2.2 NC Monitor を起動する」

2 「録画設定」を設定します。

録画の保存先や録画ファイルの容量などを設定します。

P.56「2.4.3 録画設定」

3 撮影したい本商品を選択し、[シングル撮影] または [マルチ撮影] をクリックします。

※画面は例です

以上で、クリックしたときの映像が静止画としてパソコンに保存されます。

4.5.2 動画をパソコンに保存する

「NC Monitor」で動画をパソコンに保存する手順を説明します。

【CG-NCPTL/CG-WLNCPTGL のみ】録画中にパン・チルト操作をすると、動作音が録音されることがあります。

■手動で保存する

「NC Monitor」で動画を手動でパソコンに保存する手順は次のとおりです。

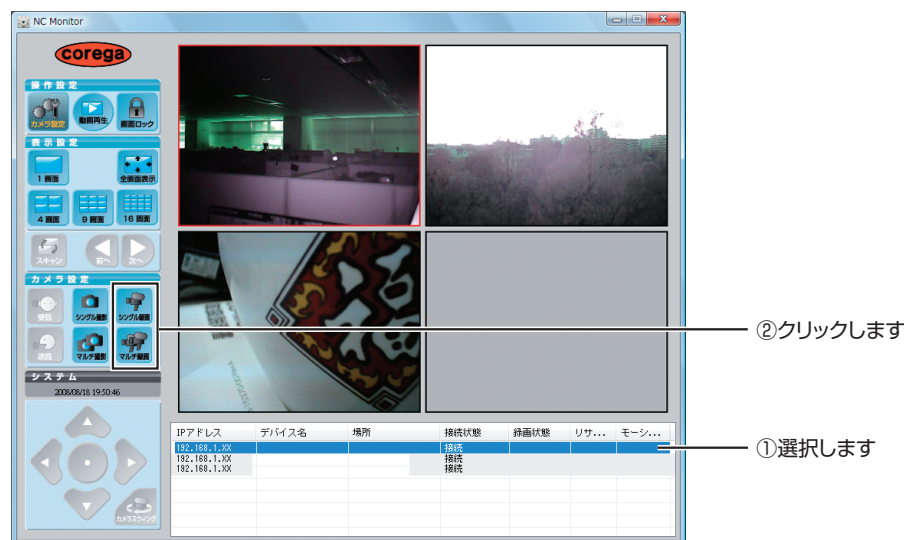
1　**「NC Monitor」を起動します。**

☞ P.51「2.2　NC Monitor を起動する」

2　**「録画設定」を設定します。**

録画の保存先や録画ファイルの容量などを設定します。

☞ P.56「2.4.3　録画設定」

3　**録画したい本商品を選択し、［シングル録画］または［マルチ録画］をクリックします。**

※画面は例です

4　**［シングル録画］または［マルチ録画］を再度クリックし、録画を終了します。**

以上で、録画した動画が指定した保存場所に保存されます。

■スケジュールで保存する

「NC Monitor」で動画をスケジュールに従ってパソコンに保存する手順は次のとおりです。

1 「NC Monitor」を起動します。

☞ P.51「2.2 NC Monitorを起動する」

2 「録画設定」を設定します。

録画の保存先や録画ファイルの容量などを設定します。

☞ P.56「2.4.3 録画設定」

3 「スケジュール録画設定」を設定します。

☞ P.72「2.9.4 NC Monitorのスケジュールを設定する」

以上で、設定は完了です。

スケジュールに従ってパソコンに動画が録画されます。

■モーション感知で保存する

「NC Monitor」に登録した本商品の映像の動画をモーション感知でパソコンに保存する方法を説明します。

1　**「モーション感知設定」で感度や領域を設定します。**

ここでは、P.88「4.1　モーション感知を設定する」で設定した内容を例に説明します。

2　**「NC Monitor」を起動します。**

☞ P.51「2.2　NC Monitor を起動する」

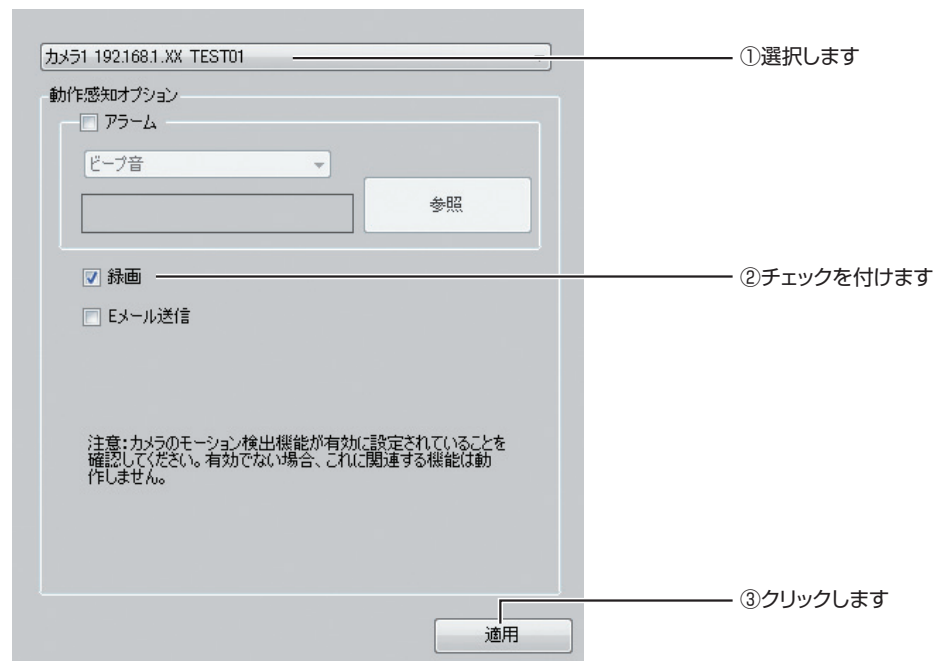
3　**「録画設定」を設定します。**

録画の保存先や録画ファイルの容量などを設定します。

☞ P.56「2.4.3　録画設定」

4

4　**［カメラ設定］ー「モーション動作設定」の順にクリックします。**

5　**録画するカメラを選択し、「録画」にチェックを付け、［適用］をクリックします。**

☞ P.58「2.4.5　モーション動作設定」

以上で、設定は完了です。

モーション感知に従ってパソコンに動画が保存されます。

4.5.3 静止画を E メールで送信する

「NC Monitor」で静止画を E メールで送信する手順を説明します。

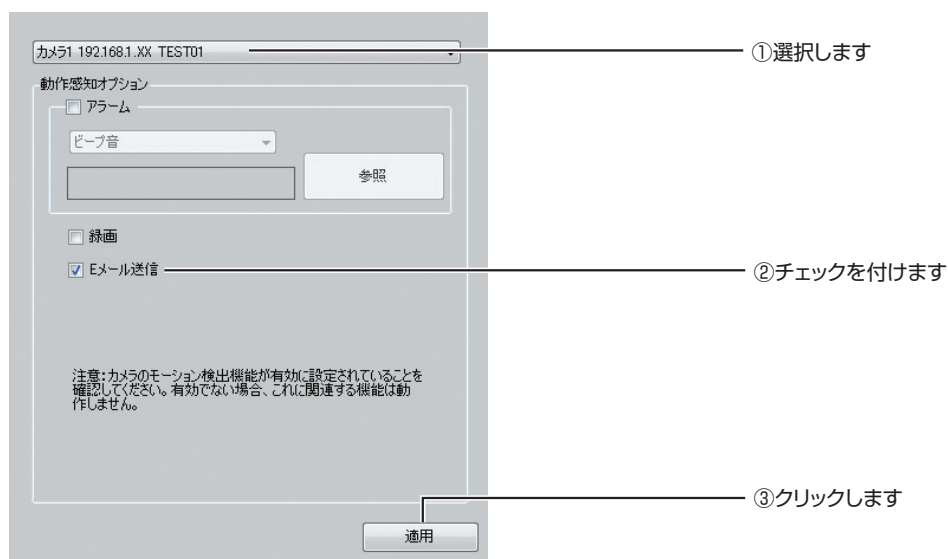
■モーション感知で送信する

「NC Monitor」に登録した本商品の映像の静止画を、モーション感知で E メールで送信する方法を説明します。

1 **「モーション感知設定」で感度や領域を設定します。**

ここでは、P.88「4.1　モーション感知を設定する」で設定した内容を例に説明します。

2 **［カメラ設定］ー「モーション動作設定」の順にクリックします。**

3 **撮影するカメラを選択し、「E メール送信」にチェックを付け、［適用］をクリックします。**

☞ P.58「2.4.5　モーション動作設定」

4　［カメラ設定］ー「モーション動作設定」ー「E メール設定」の順にクリックします。

5　「E メール設定」を設定します。

ここでは、次の E メールアドレスを例に説明します。

メール（SMTP）サーバアドレス	mail.example.ne.jp
送信元アドレス	from@example.ne.jp
送信先アドレス	aaa@bbb.ne.jp
ログイン名	user
ログインパスワード	●●●●●●●
件名	test

※パスワードは表示されません

☞ P.59「2.4.6　E メール設定」

以上で、設定は完了です。

モーション感知に従って、E メールで静止画が送信されます。

第 5 章
こんなときはこの設定（サポート編）

この章では、本商品の各サポート機能の設定方法について説明しています。

5.1　管理者パスワードを変更するには

本商品の設定を変更できる管理者のパスワードは、次の手順で変更できます。

・管理者のユーザ名「admin」は変更できません。
・新しく設定するログイン名とパスワードを忘れると、本商品の Web 設定画面を表示できなくなりますので、設定内容をメモに控えておいてください。
・パスワードを忘れてしまった場合は、本商品を工場出荷時の状態に戻すことで初期値に戻ります。

P.135「5.5　工場出荷時の状態（初期値）に戻すには」

1　設定画面を表示します。

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　［SetUp］－「基本設定」－「ユーザ管理」の順にクリックします。

3　次のように設定します。

※パスワードは表示されません

①「パスワード」と「パスワードの確認」に新しい管理者のパスワードを入力します。
②［変更］をクリックします。

4　ログイン画面で、「ユーザー名」に「admin」、「パスワード」に新しいパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

※パスワードは表示されません

5　画面右上の「ログアウト」をクリックします。

以上で、管理者ユーザのパスワードの変更が完了しました。

5.2　最新のファームウェアを入手してアップデートするには

本商品の機能強化のため予告なくファームウェアをバージョンアップすることがあります。最新のファームウェアはコレガホームページ（http://corega.jp/）から入手してください。

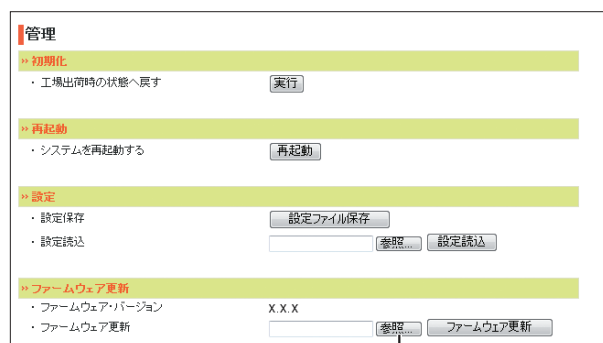
- ファームウェアをアップデートする前に、本商品の設定内容をメモに控えておいてください。
- セキュリティソフトを使用している場合、ファームウェアをアップデートする前にセキュリティソフトを停止し、ファームウェアをアップデートしたあとに、元に戻してください。セキュリティソフトの停止方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ファームウェアをアップデート中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。また、設定画面のほかの操作をしたり、アプリケーションを起動したりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品の故障の原因になります。

- ファームウェアをアップデートする前に、コレガホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。
- ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍する必要があります。ファイルをダブルクリックして、解凍してください。

次の手順でファームウェアをアップデートします。

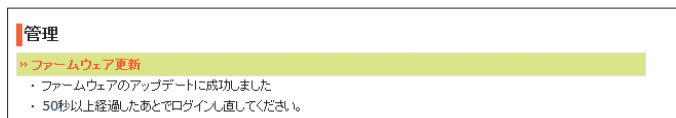
1　**設定画面を表示します。**

P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　**［SetUp］－「管理」の順にクリックします。**

3　**［参照］をクリックします。**

4 解凍したファームウェアファイルを選択し、[開く]をクリックします。

5 選択したファームウェアファイルが「ファームウェア更新」に入力されていることを確認し、[ファームウェア更新]をクリックします。

6 しばらくすると次の画面が表示され、本商品のファームウェアがアップデートされます。

以上で、本商品のファームウェアがアップデートされました。

設定画面を表示するには、50 秒以上経過してから開き直してください。

5.3　設定をバックアップする／元に戻すには

現在の設定をバックアップすると、なんらかの原因で設定内容が壊れた場合に、バックアップした設定ファイルを使って設定を元に戻すことができます。

バックアップした設定ファイルは、ファームウェアのバージョンが異なると使用できません。

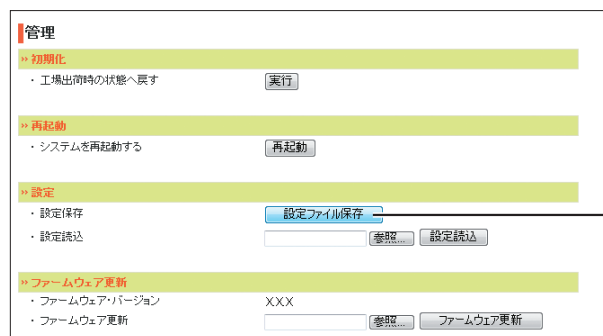
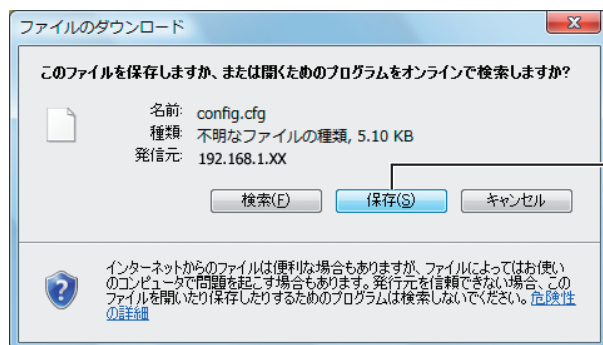
5.3.1 設定をバックアップする

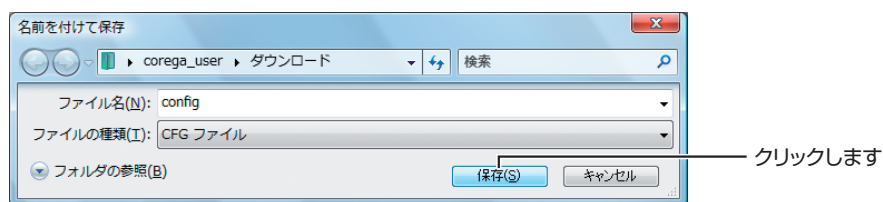
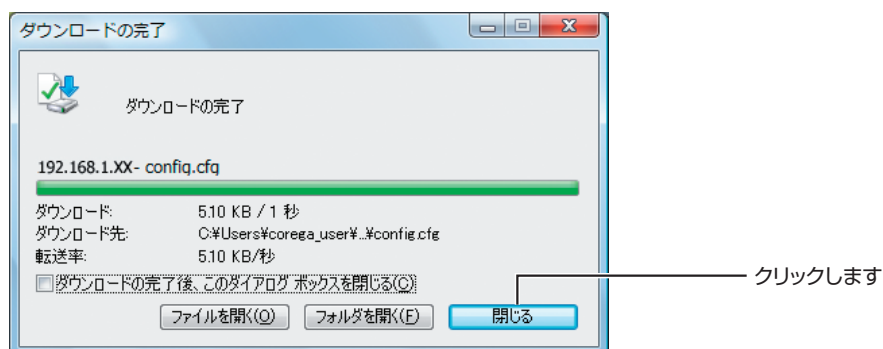
次の手順で設定をバックアップします。

1　**設定画面を表示します。**

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2　**［SetUp］－「管理」の順にクリックします。**

3　**［設定ファイル保存］をクリックします。**

4　**［保存］をクリックします。**

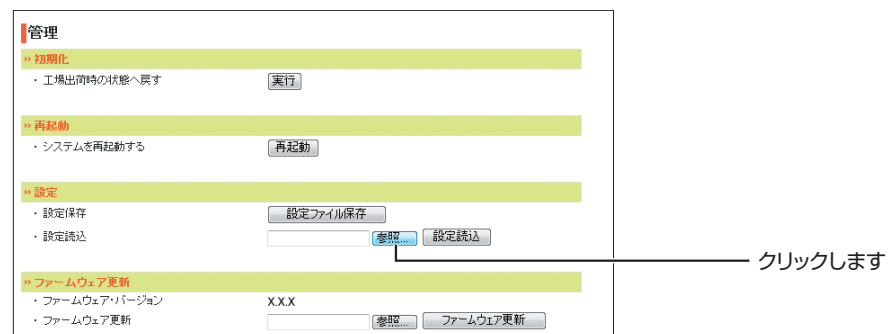
5　保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。

6　[閉じる] をクリックします。

以上で、本商品の設定ファイルをバックアップしました。

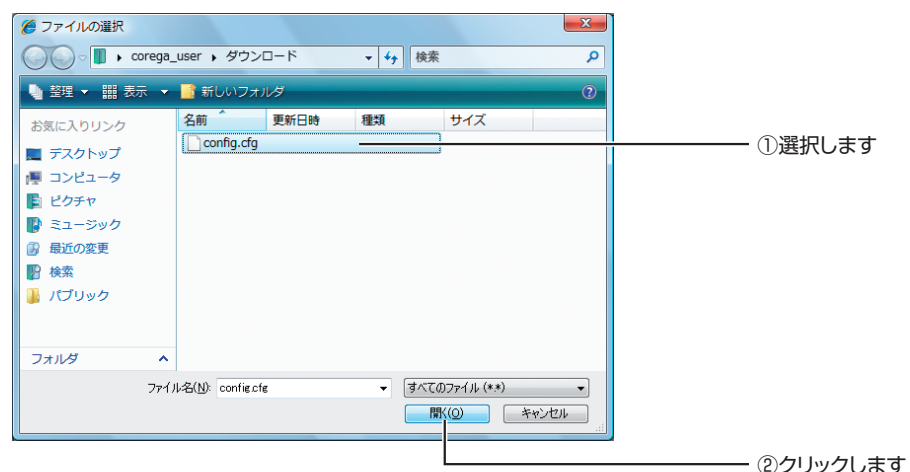
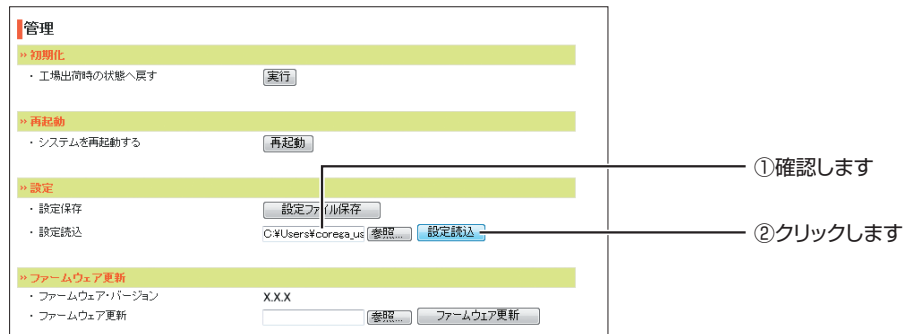
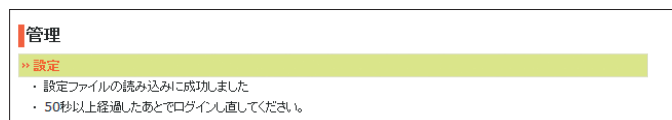
5.3.2 設定を元に戻す

次の手順でバックアップした設定ファイルから設定を元に戻します。

1 設定画面を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 [SetUp] ―「管理」の順にクリックします。

3 [参照] をクリックします。

4 P.129「5.3.1　設定をバックアップする」でバックアップした設定ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

5　選択した設定ファイルが「設定読込」に入力されていることを確認し、［設定読込］をクリックします。

6　次の画面が表示され、本商品に設定ファイルが読み込まれます。

以上で、本商品の設定が設定ファイルから読み込まれました。

設定画面を表示する場合は、50 秒以上経過してから開き直してください。

5.4 再起動するには

本商品の設定を変更したり、ネットワークに接続し直したりしたときに、本商品を再起動します。再起動には次の２とおりの方法があります。

☞ P.133「5.4.1 電源を入れ直して再起動する」

☞ P.134「5.4.2 設定画面で再起動する」

本商品の IP アドレスを自動取得（DHCP）に設定している場合、本商品を再起動すると IP アドレスが変更する場合があります。新しい IP アドレスを確認するには、「NC Finder」の［再検索］や E メール送信の「WAN 側 IP が変更したらメールで通知する」で本商品のアドレス確認してください。

☞「取扱説明書」「2.3 本商品の設定画面を確認する」

☞ P.38「1.9.2 E メール」

5.4.1 電源を入れ直して再起動する

本商品の電源を入れ直して再起動します。

1 本商品の AC アダプタを電源コンセントから抜きます。

2 本商品の AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。

3 本商品が起動します。

Power LED が点灯して本商品が起動します。起動が完了するまで 50 秒以上お待ちください。

以上で、本商品が再起動しました。

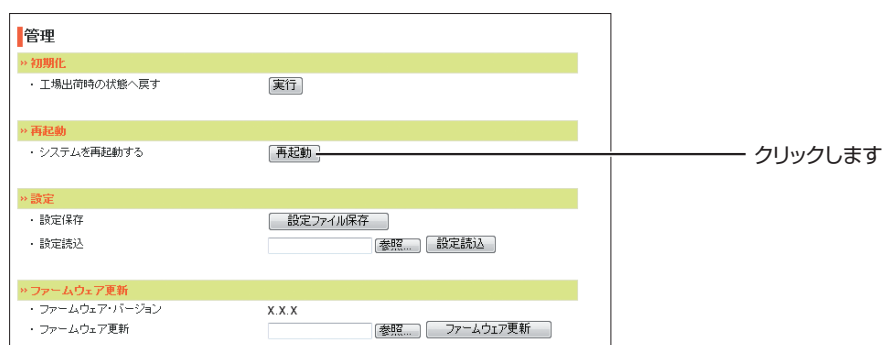
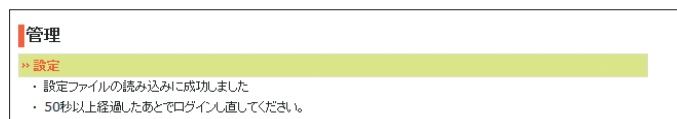
5.4.2 設定画面で再起動する

本商品を設定画面で再起動します。

1 設定画面を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 [SetUp] ー「管理」の順にクリックします。

3 [再起動] をクリックします。

4 次の画面が表示され、本商品が再起動します。

以上で、本商品が再起動しました。

設定画面を表示する場合は、50 秒以上経過してから開き直してください。

5.5　工場出荷時の状態（初期値）に戻すには

設定がわからなくなった場合などに、本商品を初期化して工場出荷時の状態に戻せます。工場出荷時の状態に戻すには次の 2 とおりの方法があります。

☞ P.135「5.5.1　Reset ボタンで初期化する」
☞ P.136「5.5.2　設定画面で初期化する」

本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定した内容が初期値に戻ります。重要な設定をしている場合は、設定内容をメモに控えたり、設定のバックアップを取ったりしてください。

☞ P.129「5.3　設定をバックアップする／元に戻すには」

5.5.1　Reset ボタンで初期化する

本商品を Reset ボタンで工場出荷時の状態に戻します。

1　本商品の電源が入った状態で、背面の Reset ボタンを 5 秒以上押します。

2　前面の Power LED が 2 回点滅したら、Reset ボタンを離します。

3　本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

本商品が工場出荷時の状態に戻って再起動します。起動が完了するまで 50 秒以上お待ちください。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

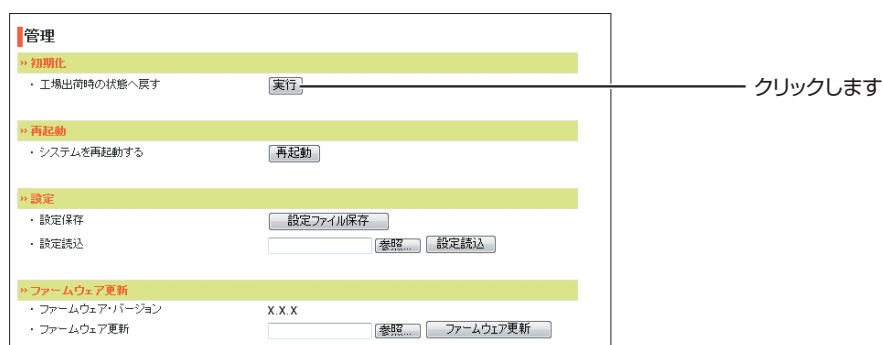
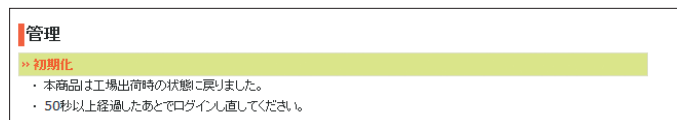
5.5.2 設定画面で初期化する

本商品を設定画面で工場出荷時の状態に戻します。

1 設定画面を表示します。

☞ P.78「3.1　設定画面を表示する」

2 [SetUp] －「管理」の順にクリックします。

3 [実行] をクリックします。

4 次の画面が表示され、本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

設定画面を表示する場合は、50 秒以上経過してから開き直してください。

5.6　NC Monitor を削除するには

「NC Monitor」を使わなくなった場合は、次の手順で削除します。

P.137 「■ Windows Vista の場合」
P.139 「■ Windows XP の場合」
P.140 「■ Windows 2000 の場合」

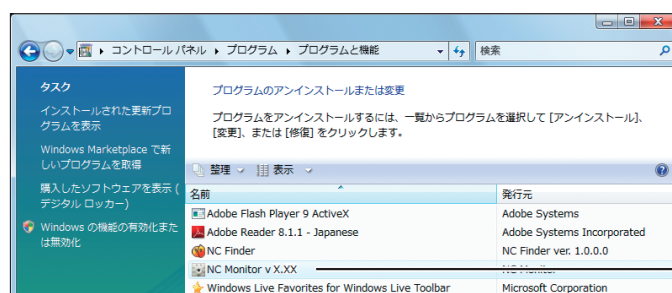
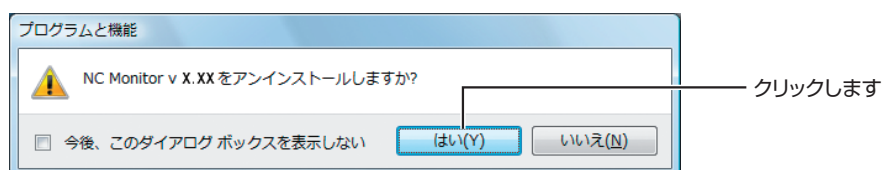
「コンピュータの管理者」または「Administrator（アドミニストレータ）」権限のあるユーザでログオンしてください。

■ Windows Vista の場合

Windows Vista をお使いの場合は、次の手順で削除します。

1　[スタート] －「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「プログラムのアンインストール」をクリックします。

3　「NC Monitor v X.XX」をダブルクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

5 「ユーザーアカウント制御」画面で、「許可」をクリックします。

6 自動的に削除されます。

以上で、「NC Monitor」の削除は完了です。

■ Windows XP の場合

Windows XP をお使いの場合は、次の手順で削除します。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「プログラムの追加と削除」をクリックします。

3　「NC Monitor v X.XX」を選択し、［削除］をクリックします。

4　［はい］をクリックします。

5　自動的に削除されます。

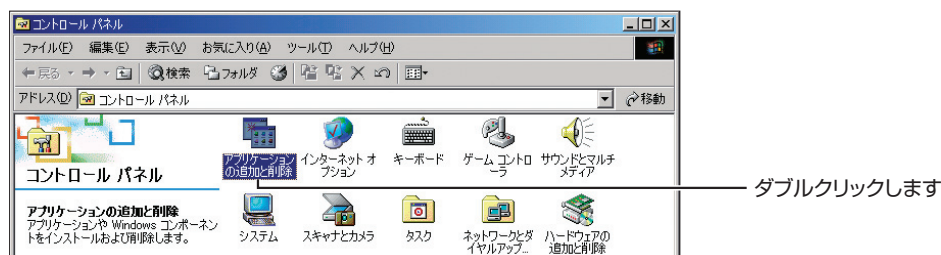
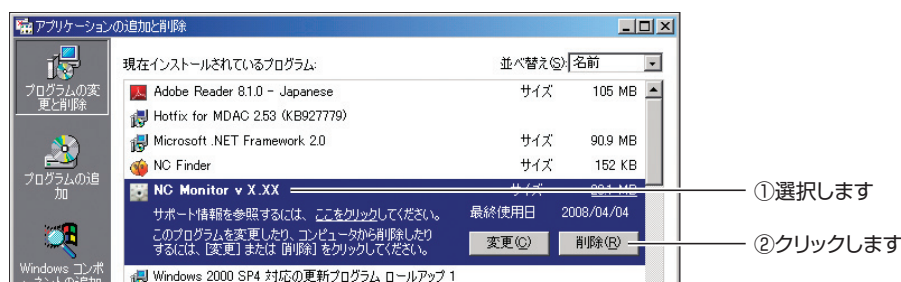
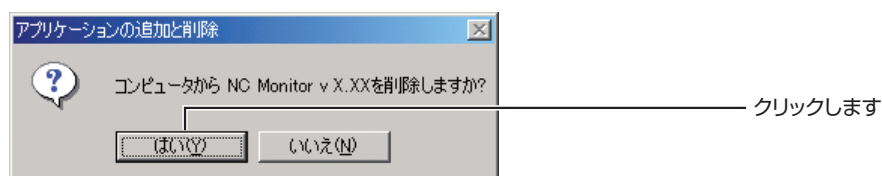
以上で、「NC Monitor」の削除は完了です。

5

■ Windows 2000 の場合

Windows 2000 をお使いの場合は、次の手順で削除します。

1　［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

3　「NC Monitor v X.XX」を選択し、［削除］をクリックします。

4　［はい］をクリックします。

5　自動的に削除されます。

以上で、「NC Monitor」の削除は完了です。

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、ADSL モデムなど直接接続するネットワーク機器（本商品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダに事前申請してください。

本商品の MAC アドレスは本体側面または底面に記載されています。また、P.43「1.11.1　本体情報／デバイス情報」で確認できます。

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2008 年　8 月　初　版
2010 年　5 月　第五版